

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価報告書

令和 6 年度事業分

令和 7 年 8 月作成

伯耆町教育委員会

## 目 次

○ はじめに .....	1
○ 教育委員会の活動状況 .....	2
○ 主要事業の点検評価 .....	7
○ 伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート .....	12

## ■はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第26条第1項に規定されており、これに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

## ○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るものです。

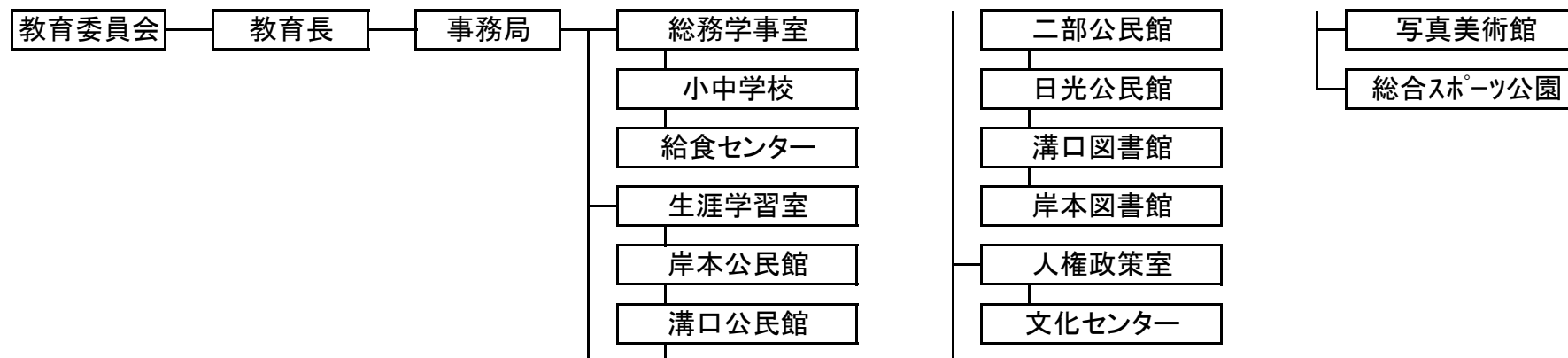
## ○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が令和 6 年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

## ○伯耆町教育委員会委員名簿(令和7年4月1日現在)

教育長	箕 浦 昭 彦
教育長職務代理者	大 木 寿 之
委 員	羽 田 成 夫
委 員	濱 田 真 代
委 員	藤 原 美 枝

## ○教育委員会の組織図



## ■教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会の開催状況

開催日	会議別	案件区分	案件名
4 月 23 日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	二部公民館のあり方検討会の協議状況について
		報告	伯耆町部落差別をはじめあらゆる差別をなくする人権尊重に関する条例の一部を改正する条例の取り扱いについて
		議事	学校運営協議会委員の任命について
		議事	社会教育委員の委嘱について
		議事	公民館運営審議委員の委嘱について
		議事	スポーツ推進審議会委員の任命について
		議事	学校医の委嘱について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	令和6年度伯耆町社会教育計画について
		その他	事務連絡
5 月 30 日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	学校校務分掌主任等の任命について
		協議	伯耆町部落差別をはじめあらゆる差別をなくする人権尊重に関する条例改正のパブリックコメント実施を議会に説明することについて
		協議	令和6年度教育委員会関係補正予算の原案について
		協議	6月定例町議会提出案件（二部公民館のあり方検討会の協議状況）について
		その他	令和6年度伯耆町教育委員会学校計画訪問実施計画
		その他	事務連絡
6 月 19 日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	6月定例町議会提出案件等の結果について
		議事	区域外就学について
		その他	「英語教育実施状況調査」の結果を踏まえた生徒の英語力向上に向けた取組の推進等について
		その他	事務連絡
7 月 31 日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定

		報告	令和6年度前期標準学力調査の結果について
		報告	令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について
		議事	学校給食費の額の変更について
		議事	令和7年度に使用する中学校の教科用図書の採択について
		協議	二部公民館のあり方について
		その他	伯耆町「夏休みのお楽しみ」について
		その他	事務連絡
8月21日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		協議	人権擁護委員候補者の推薦について
		協議	伯耆町部落差別をはじめあらゆる差別をなくする人権尊重に関する条例の一部改正に関する議案の原案について
		協議	令和6年度教育委員関係補正予算(第4号)の原案について
		協議	令和5年度教育委員会関係予算の決算の原案について
		協議	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
		協議	法人の経営状況について
		協議	二部公民館のあり方の方針について
		その他	溝口地区町民運動会の中止について
		その他	事務連絡
9月25日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	9月定例町議会提出案件等の結果について
		その他	後期学校訪問の日程について
		その他	伯耆町総合教育会議について
		その他	伯耆町立中学校等における部活動の地域連携・地域移行推進計画について
		その他	学校における時間外応答メッセージ付き電話、欠席連絡方法の変更について
		その他	事務連絡
10月30日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		その他	伯耆町総合教育会議資料について
		その他	令和7年度新規事業について
		その他	教育委員会表彰の選定基準について

		その他	要保護準要保護児童生徒の認定に係る申請書の様式変更について
		その他	給食費値上げの見込について
		その他	町立小学校教員による酒気帯び運転事案について
		その他	事務連絡
11 月 29 日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	学校給食費の額の変更について
		協議	令和 6 年度教育委員会関係補正予算の原案について
		その他	教育長及び教育委員任期満了に伴う改選について
		その他	町立小学校教員による酒気帯び運転事案の経過について
		その他	事務連絡
12 月 18 日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	12月 定例町議会提出案件等の結果について
		その他	学校訪問のまとめについて
		その他	町政に関する要望書について（議会）
		その他	令和 7 年度当初予算編成に係る要望について（校長会）
		その他	事務連絡
1 月 29 日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		協議	令和 6 年度伯耆町教育委員会表彰受賞対象者の決定について
		その他	卒業式・入学式出席者確認について
		その他	3 月臨時教育委員会の開催について
		その他	伯耆町立八郷小学校学校運営協議会の文部大臣表彰の決定について
		その他	小中学校の集金方法の変更について
		その他	事務連絡
2 月 19 日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	臨時代理の報告（岸本小学校教職員の酒気帯び運転に係る事案に対する内申について）
		議事	伯耆町立小中学校管理規則の一部改正について
		協議	伯耆町住宅新築資金等貸付事業基金条例の制定に関する議案の原案について

		協議	伯耆町立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の廃止に関する議案の原案について
		協議	令和6年度教育委員会関係補正予算の原案について
		協議	令和7年度教育委員会関係当初予算の原案について
		協議	人権擁護委員候補者の推薦について
		協議	令和7年度伯耆町学校教育基本方針について
		その他	事務連絡
3月11日	臨時会	議事	令和7年度 伯耆町小中学校の教職員の人事異動内申について
		議事	区域外就学について
		その他	事務連絡
3月27日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	3月定例議会提出案件等の結果について
		報告	令和6年度後期標準学力調査の結果について
		議事	令和7年4月1日付け教育委員会事務局関係職員の人事異動について
		議事	公民館運営審議会委員の委嘱について
		議事	図書館協議会委員の任命について
		議事	学校医の解嘱及び委嘱について
		議事	地域学校協働活動推進員の委嘱について
		議事	スポーツ推進委員の委嘱について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		議事	外国青年招致事業等により任用される外国語指導助手等の報酬等の決定及び支給に関する規則の一部改正について
		その他	入学式告示案について
		その他	事務連絡

開催回数		13
案件別提出件数	報告件数	34
	議案件数	22
	協議件数	20
	その他件数	37
	合計	113

## 2. 教育委員会関係会議・事業等

### (1) 教育委員研修会・会議

- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会(倉吉市)
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会(日吉津村)
- 鳥取県市町村教育委員会委員研修会(倉吉市)
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会合同研修会(日吉津村)

### (2) 学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 運動会・体育祭 全小中学校
- 学習発表会・文化祭 全小中学校
- 教職員離任式

### (3) その他

- 二十歳を祝う会
- 総合教育会議(1回)



## 令和 6 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

### □点検と評価の方法

令和 6 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、小中学校PTA会長、スポーツ推進審議会委員、地域学校協働本部実行委員及び教育委員に意見等を求めた。

### □点検・評価対象事業

伯耆町教育振興基本計画の事業展開方針に基づき、取り組んだ事業を対象とする。

#### 基本目標1 「社会の一員として自立して生きていく児童生徒の育成」

##### 施策(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

###### ①確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| ・小中一貫学力・人間力定着事業      | ・運動部活動推進員の配置     |
| ・中学校各1名、小学校1名のALTの配置 | ・人権教育の推進         |
| ・栄養教諭等による食育の充実       | ・体験学習の充実など       |
| ②教職員の指導力向上のための研修の充実  |                  |
| ・校内研修への外部指導者招聘       | ・町教委主催各種研修会の実施など |
| ・町教振研究大会での悉皆研修       |                  |

##### 施策(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続

###### ①保育所・小学校・中学校一貫教育の推進

- |                                      |             |
|--------------------------------------|-------------|
| ・保小中一貫カリキュラムの学習指導要領に合わせた改訂（伯耆I学習を含む） |             |
| ・保育所、小学校、中学校の児童・生徒交流活動               | ・ふるさとキャリア教育 |
| ・小中学校教職員の交流                          | ・合同授業研究会など  |

###### ②保育所・小学校・中学校の滑らかな接続

- |                 |                         |
|-----------------|-------------------------|
| ・伯耆町就学支援検討会     | ・中学校区を単位とする小中学校連携事業の推進  |
| ・早期支援コーディネーター配置 | ・保育所職員、教職員の情報交換会、合同研修など |

施策(3) 人にやさしい学校教育環境の整備

①人にやさしい学校教育環境の整備

- ・少人数学級の実施
- ・学習支援員と学校司書の配置
- ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、早期支援コーディネーターの配置など
- ・部活動指導員等の配置
- ・就学援助

②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備

- ・学校施設・設備の充実
- ・スクールガードリーダーの配置
- ・I C T環境の整備
- ・I C Tに関する教職員の研修や支援の充実
- ・I C T機器の活用促進
- ・体育館照明L E D化の検討
- ・給食会計の公会計化検討など

**基本目標2 まちぐるみで取り組む教育の推進**

施策(1) 学校・家庭・地域・行政の連携

①家庭教育の充実

- ・家庭教育ハンドブックの活用促進
- ・放課後子供教室
- ・家庭教育支援チーム
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催など

②まち全体で子どもを育む地域と共に創る学校の推進

- ・学校運営協議会・地域学校協働本部と学校との協働
- ・伯耆町教育ネットワーク会議の取組拡充
- ・学校支援ボランティア制度の充実など

施策(2) みんなで取り組む青少年の健全育成

①「共育」「見守り」環境の整備

- ・青少年育成伯耆町民会議等関係団体の活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進
- ・あいさつ運動の推進など

②ふるさとを支える青少年の育成

- ・ふるさとキャリア教育
- ・伯耆I学習の推進
- ・地域の特性に根差した体験活動の充実
- ・通学合宿
- ・教育交流事業など

### **基本目標3 学び続け輝き続けるための環境づくり**

#### **施策(1) 心豊かな生活を創る学びの推進**

##### **①生涯学習の推進**

- ・ 公民館を核とした住民活動支援と関係課との連携
- ・ 生涯学習情報の積極的な発信
- ・ 住民参画・協働による生涯学習事業の検討
- ・ 溝口公民館改修
- ・ 地域指導者の発掘
- ・ 成人団体の育成など

##### **②読書活動の推進**

- ・ 図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・ ブックスタート、ブックセカンド、ブックサード事業の実施
- ・ あたまいきいき音読教室の開催、出前図書館など

#### **施策(2) 人権尊重のまちづくりの推進**

##### **①人権尊重のまちづくりの推進**

- ・ 明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・ 人権教育・啓発推進協議会の活動支援
- ・ 相談業務の拡充
- ・ 個別計画に基づく事業の推進
- ・ 文化センター活動の充実など

#### **施策(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造**

##### **①文化財の保存と活用**

- ・ 文化財調査及び文化財保護
- ・ 文化財教室等の開催
- ・ 郷土学習の支援
- ・ 文化財の保存・展示施設の整備など

##### **②地域芸術文化の振興**

- ・ 伝統行事や地域文化活動の開催等支援
- ・ 文化施設の適正管理及び利用促進
- ・ 芸術文化活動の発表の場づくり
- ・ 文化芸術団体等の活動支援と活動の周知
- ・ 鬼の館長寿命化など

### **基本目標4 スポーツや運動を通じての心と体の健康づくり**

#### **施策(1) 生活の中にスポーツがある暮らしの支援**

##### **①幼児・小中学生のスポーツ活動の推進**

- ・ ジュニアクラブの活動支援
- ・ スポーツクラブとの連携による健康づくり
- ・ 保育園児への運動指導など

②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・ニーズに沿ったスポーツ教室等の開催

- ・運動、スポーツに関する啓発・情報提供など

施策(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備

①いつでも気軽にスポーツができる環境の整備

- ・スポーツ関係団体と連携した事業の推進
- ・スポーツ団体の活動支援
- ・体育施設の適正管理

- ・海洋センター（体育館・プール）、武道館の照明LED化検討
- ・グラウンド等夜間照明の在り方の検討など

施策(3) スポーツでつながり広がる交流・連携の推進

①スポーツ交流の充実・支援

- ・教育委員会表彰によるスポーツボランティアの顕彰

- ・町民対象のスポーツ大会の充実など

②競技スポーツの支援

- ・教育委員会表彰による功績等の周知
- ・スポーツ優秀選手への補助金交付

- ・全国大会等出場選手の周知など

□評価方法

1. 評価記号の説明

評価記号	説 明
◎	・新規に企画された事業で目標が達成された事業
○	・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業
△	・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業
▲	・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかった事業
●	・実施しなかった事業又は目標がほとんど達成されなかった事業

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

2. 評価基準

「(1)評価記号」の説明	達成値
「目標が達成された」	90%以上
「目標がほぼ達成された」	70%以上 90%未満
「目標達成が不十分」	50%以上 70%未満
「目標がほとんど達成されなかった」	30%以上 50%未満
「実施しなかった」	30%未満

3. 目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分がなかったかどうか

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進	① 確かな学 力と規範意 識の向上、 豊かな心と 健やかな体 を育む教育 の充実	1	学力向上推進計 画策定と進捗管 理	総務 学事	全国学力・学習状況調査及び標準学力調査(年2回)の結果をもとに、各学校毎に児童生徒の学力向上に向けた取り組みを計画的に実施すると共に、継続的な計画の取り組みによって、的確な指導体制を確立する。	・町教委が標準学力調査及び全国学力・学習状況調査を分析し、学力向上への視点を提供した。 ・各学校は、学力向上推進計画に基づき、実施することができた。	○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		2	標準学力調査及 び分析の実施	総務 学事	標準学力調査を年2回実施し、学力の定着状況を把握・分析することで、児童生徒の課題の改善及び教育施策の成果と課題を検証する。また、教育指導の改善、学力向上推進計画のPDCAを継続的に行う体制を確立する。	・小中一貫学力向上推進担当者会において、各学校の学力調査の結果を校区ごとに分析し共有した。 ・「SP表」等を活用し、各学校学年・学級ごとの学力の様相を教科担当が把握する仕組みを整備した。これにより、学習集団ごとの授業改善の取組につなげることができた。 ・学力調査の分析の上に、各学校の学力向上PDCAサイクルが回るよう、町教委によって、町教振・研修・授業研究会等の機会を中学校区ごとの目標と整合するよう配置し、指導助言を行う。	○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		3	小中一貫学力・ 人間力定着促進 事業 ・学力補充関係 事業	総務 学事	各学校毎に、学習状況に課題のある児童・生徒を対象にした学力補充教室を開催すると共に、指導補助員を配置し、よりきめ細やかな指導体制を整備することで、児童生徒の学力向上を図る。 また、英語教育推進を目的に、英語学習に目的意識を持って取り組めるよう英検受験料補助事業を実施する。	・伯耆未来塾を実施することで学習の場を提供し、生徒の学習習慣の確立や学力向上の一助となっている。 ・英検受験について、小学生の受験機会を提供した。中学校英語学習や中学校英語検定受験へつながっている。 ・英検受験料補助について、対象を「小学校1回・中学校1回」から、「各年度1回」に拡充した。 ・保小中一貫教育の視点を全教職員で共有できる研修会の開催に努め、より効果のある事業の充実に向けて事業全体を整備する。	○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		4	体力向上計画策 定と進捗管理	総務 学事	全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果をもとに、各学校毎に体力向上計画を策定し、体力向上等に対する的確な指導体制を確立することで、児童生徒の健康増進に寄与する。	・各学校毎に体力向上計画を策定し、中間報告を行いながら、課題に応じた体力向上の取組を実施した。 ・各学校ごとの規模の差が大きく、データのばらつきも大きいため、鳥取県の実施する新体力テストの小5と中2の調査を活用し、系統的な実態の把握に努める。	○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ ぎ)	① 確かな学 力と規範意 識、豊かな 心と健やか な体を育む 教育の充実 (つづき)	5	小学校外国語教 育推進事業	総務 学事	令和2年度から新学習指導要領の全 面実施に伴い、導入されている小学校 での外国語教育の支援のため、町内4 小学校を受け持つALT1名を配置す る。	・小学校への英語教育に対応するため、町内全小学校を対象したALTを1名配置 して英語教育を支援するとともに、国際理解教育を支援した。  ・引き続き、児童の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		6	外国青年招致事 業	総務 学事	岸本中学校と溝口中学校にALTを1名 ずつ配置し、生徒の英語能力の向上 に資する。	・各中学校にALTを配置し英語学習と国際理解の充実を図った。また、公民館の 英会話教室での講師、広報誌にALT通信を載せる等、地域における国際理解の 啓発に寄与した。  ・引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		7	栄養教諭による 食指導	給食セン ター	栄養教諭1名、要望による加配職員1 名の計2名で栄養指導を行い、学校給 食を通じて食育の推進を図る。	・栄養バランスのとれた給食を食べることにより、食事の楽しさ、食事の基礎知識 の学習など、児童生徒が食事の大切さを学んだ。児童生徒に地元食材を食べて もらうことで、食育の推進を図った。 ・各学校に出向いての栄養指導等は、5年度と同程度実施することができた。ま た、生産者やセンター職員と児童との交流給食も全ての小学校で実施できた。 ・学校給食だよりに給食のレシピを概ね毎月1品ずつ掲載した。  ・県が育休・産休の代替職員等を募集しても、なかなか見付からないことが多々 あるため、1人体制になった時の十分な食育、栄養指導等への対応の検討が必要。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ ぎ)	① 確かな学 力と規範意 識、豊かな 心と健やか な体を育む 教育の充実 (つづき)	8	伯耆町教育振興 会事業 ・学校保健	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局 及び出先機関で組織を構成し、各種 専門部会を設置して、町の幼児・学校 教育の研究推進や地域の教育力向上 を図る。	・朝食調べを全小中学校で行ったほか、生活習慣・アレルギー対応などについて、情報交換を行い、今後の取組の参考とした。 ・町報で取組の紹介や簡単なレシピを掲載し、啓発につなげた。 ・朝食調べを継続するとともに、各保育所・学校での生活習慣改善の取り組みを調査する。	○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		9	運動部活動推進 事業	総務 学事	地域の専門的指導者を部活動指導に 派遣し、部活動の活発化、生徒の技能 向上、地域との連携の推進を図る。	・中学校部活動指導員配置事業(国事業)を活用し、岸本中学校でバスケット ボール部、柔道部、バレーボール部、卓球部及び陸上部に、溝口中学校では柔 道部に部活動指導者を配置し生徒への指導のみならず、教員の負担軽減を図る ことができた。 ・部活動の地域移行にむけ、「部活動の地域連携・地域移行計画」を作成し、HP で公表した。 (地域移行クラブ)1団体を認定 (合同部活動)1競技 (休日の部活動指導員活用)4競技 ・引き続き、県事業及び国事業を活用し、専門的指導が必要な部活動に外部指 導者及び部活動指導員を配置し、部活動の活発化、生徒の技能向上並びに教 職員の負担軽減を図りたい。 ・休日の部活動の地域移行について、引き続き、伯耆町部活動地域移行協議会 で検討を進めていく。	○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		10	特別非常勤講師 配置事業	総務 学事	地域の専門的知識を有する者を県教 委に内申し、特別非常勤講師として配 置してもらい総合的な学習の一部やク ラブ活動を担当させることで、学校教 育の充実を図る。	・岸本小4名、八郷小2名、二部小5名の推薦を受け、特別非常勤講師を配置し た。各自の専門的な知識や技能を活かし、授業や活動の充実が見られた。 ・引き続き、各学校の実態に応じ、専門的な知識技能を有する地域人材を特別非 常勤講師として配置し、授業の充実を図る。	○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		11	伯耆町教育振興 会事業 ・人権教育	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局 及び出先機関で組織を構成し、各種 専門部会を設置して、町の幼児・学校 教育の研究推進や地域の教育力向上 を図る。	・町人権教育研究大会を11月6日に八郷小学校で開催し、あさひ保育所、八郷小 学校の取組を実践発表した。また、人権教育主任会を開催し、人権教育推進の 方向性についての共通理解及び各学校の人権教育の取組についての情報共有 を図った。 ・町人権教育研究大会を、研修に変える。町内の全小中学校で指導事項・内容 等の共通理解を図り、共通実践を進めていく。	○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上



計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ ぎ)	② 教職員の指 導力向上の ための研修 の充実	12	小中一貫学力・ 人間力定着促進 事業 ・各校研修会	総務 学事	各学校の授業研究会へ外部講師を招 聘し、授業の質的な向上を図る。	・各校授業研究会のほか、本事業を活用した外部講師の招へいによる授業研究 会等を、岸本小2回、八郷小2回、二部小1回、溝口小1回、岸本中1回、溝口中 2回を開催し、学力向上計画を推進した。 ・学力向上推進計画に定める成果指標が達成されるよう、各種学力調査の分析・ 研修・授業研究会等が校区ごとの一貫した取組となるよう整備する。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		13	小中一貫学力・ 人間力定着促進 事業 ・教委研修会	総務 学事	小中一貫教育・人間力定着の取り組み をより有効なものにするため、教員の 授業力や管理職等のマネージメント能 力を高める管理職研修会、学校運営 協議会を中心とした学校評価研修会等 を開催する。	・小中一貫授業力向上研修会として、「教えて考えさせる授業(OKJ)」をテーマと して取り上げ、実施した。 ・学校評価研修会を開催し、学校運営協議会委員とともに、町ぐるみで取り組む 教育の推進について見識を深めた。 ・保小中一貫教育の理念に基づいて、各種研修会の企画意図を明確にし、取組 に一貫性を持たせるよう整備する。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		14	伯耆町教育振興 会事業 ・研究大会	総務 学事	学校教育の諸課題に対応できるよう教 職員の資質向上を図るため、本町独自 の研修を実施する。	・町内保・小・中の全教職員等を対象に、保小中を貫く視点をテーマとした研修会 を実施した。「保小中一貫教育の推進について」「伯耆町学校教育HK30プラン3rd ステージについて」の2点について、対象教職員と共通理解を図った。 ・今後のニーズや社会情勢に対応した研修等を開催し、教職員の知識・技能の向 上を図る。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		15	伯耆町教育振興 会事業 ・授業研究会	総務 学事	授業研究会を開催することで、個々の 教職員の資質・能力を高めるとともに、 教職員の協働性を高め学校力の向 上・充実を図る。	岸本小3回 八郷小4回 岸本中3回 岸本中学校区合同1回 二部小3回 溝口小3回 溝口中3回 溝口中学校区合同1回 ・学力向上推進計画に定める成果指標が達成されるよう、各種学力調査の分析・ 研修・授業研究会等が校区ごとの一貫した取組となるよう整備する。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		16	伯耆町教育振興 会事業 ・生徒指導	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務 局及び出先機関で組織を構成し、各種 専門部会を設置して、町の幼児・学校 教育の研究推進や地域の教育力向上 を図る。	生徒指導担当者会2回、研修会1回等を開催した。 ・第1回生徒指導担当者会 情報交換、夏休みのくらしについて、夏休中の児童生徒向け放送について ・第2回生徒指導担当者会 情報交換、冬休みのくらしについて、冬休中の児童生徒向け放送について ・研修会 立命館大学特任教授野田正人先生による研修会を実施し「学校現場でアセスメ ントの実際」について見識を深めた。 ・保小中一貫教育としての事業展開につながるよう、最新のニーズをとらえた各 種研修の配置と、カリキュラムの恒常的な改訂について推進する。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進(つづ き)	② 教職員の指 導力向上の ための研修 の充実(つづ き)	17	学校要請訪問、 学校随時訪問	総務 学事	各学校の校内授業研究会での指導助 言や業参観・授業評価及び学校長へ の指導助言を目的として学校訪問を実 施する。	・校内授業研究会、小中合同研究会に可能な限り参加し、研究推進の進捗を見 取るとともに、教職員への指導助言を行うことができた。また、管理職との協議の 中で、各学校の研究推進への助言を行うことができた。 ・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れる よう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		18	学校計画訪問、 行事訪問、講師 訪問、本務者訪 問	総務 学事	各学校の運営状況及び授業実践の把 握を行うため、各種訪問を行い、各校 の課題改善に努める。	・町教委学校計画訪問 各小中学校1回 ・行事訪問(各式典参列) ・西部教育局学校訪問 各学校2回 ・上記の訪問による各学校教育の見取りをまとめて、還元することができた。 ・教育委員による学校教育の見取りの結果を各学校と共有し、引き続き、学校教 育目標の具現化を促していく。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
1-(2) 保育所・小 学校・中学 校の滑らか な接続	① 保育所・小 学校・中学 校 一貫教育 委の推進	19	伯耆町教育振興 会事業 ・保小中一貫教 育	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務 局及び出先機関で組織を構成し、各種 専門部会を設置して、町の幼児・学校 教育の研究推進や地域の教育力向上 を図る。	・専門部会、小中情報交換会を開催し、各校の状況の共有・共通実践項目の チェックや今後の取り組みの確認を行った。また、授業研究会への相互参加によ る授業改善や保・小、小・中との交流を進め連携を図った。 ・保小中一貫教育としての事業展開につながるよう、最新のニーズをとらえた各 種研修の配置と、カリキュラムの恒常的な改訂について推進する。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		20	小中一貫学力・ 人間力定着促進 事業 ・小中一貫関係 事業	総務 学事	保小中一貫教育カリキュラムを活か した授業づくりのスキルを高めるよう、各 中学校区で全教職員を対象にした授 業研究会等を開催し、授業改善の共通 認識の醸成を図る。	・小学校教科書採択の結果に基づいて、『保小中一貫カリキュラム』を作成した。 これに標準学力調査の結果を反映させることで、学力の様相を把握できるよう運 用した。 ・ほうき「ひと・まち・未来づくり」アクションフォーラムを開催し、伯耆1学習の取組を 推進するとともに、地域の中で共有した。溝口小学校の取り組みは、県教委によ り表彰された(ふるさとキャリア教育CM賞)。 ・中学校教科書採択の結果を『保小中一貫カリキュラム』に反映させ、効果的な運 用を行う。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		21	スクラム教育事 業 (保・小・中の児 童・生徒交流活 動)	総務 学事	中学校区での保・小・中が校種の枠を 超えてスクラムを組み、一貫性のある 教育や各種取り組みを行うことで、学 力向上・不登校防止・職員間の情報共 有等に寄与する。	小・中交流会、保・小交流会、授業体験交流、合同研究会等の実施による連携強 化、中一ギャップの解消、教員間の情報共有等を図った。また、スクラム教育に 関するまとめ冊子を発行した。 ・岸本中学校区 小中交流会2回 保小交流会8回 ・溝口中学校区 小中交流会3回 保小交流会6回 ・町教振保小中一貫教育部会を中心に、校種間の円滑な接続を目指した取組を 推進する。	○ 継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続(つづき)	① 保育所・小学校・中学校 一貫教育委の推進	22	中学校教員の小学校への乗入授業	総務学事	小中の職員が互いに乗り入れて学習指導することで、中1ギャップへの対応、専門性を生かした授業内容の充実や学習意欲の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溝口中学校区において、小学校へ音楽科の乗り入れ授業を行い、より専門的な指導力を生かした授業実践につながった。</li> <li>・教職員の配置によるが、可能な限り乗り入れ授業を実施する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続	23	就学支援検討会	総務学事	小中学校就学について、支援が必要と考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不適応などの2次障害を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早い段階での関係機関による連絡会議開催で、対象児童の状況把握を行ったうえで、複数回の観察会、5歳児検診・相談等を経て就学支援検討を行った。</li> <li>・観察記録シートを改善し、視点を細分化したことで、必要な支援についての協議の充実が図れた。</li> <li>・全体会では、関連機関との顔合わせができた。また、適切な就学、必要な支援の継続について、共通理解や確認ができた。各小中、保幼の機関との連絡会を個別に行うことで、就学に向けた連携のスタートがきれた。</li> <li>・支援の必要な子どもの多面的状況把握のための関係機関の連携に努め、本人・保護者の思いに寄り添った適切な就学支援につなげる。</li> <li>・西部就学支援検討会に向けて、関係機関との事前協議をさらに綿密に行いたい。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		24	伯耆町教育振興会事業・就学支援	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局等及び関係機関で組織を構成し、就学支援教育充実のための連携推進や小中の小中の特別支援学級の交流活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインの視点を生かした支援のあり方についての研修会を開催。ユニバーサルデザインの視点から、支援学級等の幼児、児童、生徒に限らず、誰に対しても行える支援の方法を学んだ。</li> <li>・次年度も長期休業を利用して、研修を行いたい。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		25	中学校区の児童生徒を語る会	総務学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区毎に、児童生徒を語る会(小中学校担当教員、SC、SSW、教育委員会指導主事等参加)を開催し、関係者による育ちを見据えた情報共有といじめ問題等の未然防止のための協議及び連携した支援体制の構築に努めた。岸本中学校区:年1回、溝口中校区:各学期1回</li> <li>・不登校及びいじめ問題等の未然防止、早期発見、早期連携の一層の重要性を再確認し、校区、SC、SSWとの連携を強化していく。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業						
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	評価	
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備	① 人にやさしい学校教育環境の整備	26	少人数学級実施事業	総務学事	小中全学年30人学級の実施によりきめ細やかな教育を推進する。	<div>・岸本中 少人数学級実施(1・2・3年) 定員5名増</div> <div>・溝口中 少人数学級実施(3年) 定員1名増</div> <div>・八郷小 複式解消(2・3年)</div> <div>・二部小 複式解消(5・6年)</div> <div>・上記により、きめ細やかな学習指導、一人ひとりの変化への気づき、速やかな生徒指導の実施、中学校進学への動機づけ等多角的に教育効果をあげている。このほか、学校からは、不登校等の諸問題についても、有用性が認められると報告されている。</div> <div>・今後も、少人数学級と複式解消への対応を柔軟に検討する必要がある。</div>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		27	スクールソーシャルワーカー活用事業	総務学事	いじめや不登校など児童生徒の問題行動を環境面から解決するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係者・関係機関が協力して、児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。	<div>・SSW2名、SSWS2名を配置し、学校・関係機関と連携・情報共有のうえ、問題を抱える児童生徒の個別の状況や問題点の把握・確認、支援方針の確立等、支援を行い課題の解消につなげた。学校でのケース会議実施回数が昨年度より大幅に増えた。</div> <div>SSW2人が校区ごとに巡回したり、教育支援センター相談員をSSWS(サポーター)として学校へも不定期に派遣したりすることで、よりタイムリーな相談活動、情報収集活動を行う。</div>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		28	スクールカウンセラーとの連携	総務学事	本町のスクールソーシャルワーカー、早期支援コーディネーター等と県教委雇用のスクールカウンセラーが連携することで、児童生徒の抱える課題解決に向けた支援体制を強化する。	<div>・SSWとSCの勤務日をできる限り合わせる工夫を図り、教職員とも一緒に児童・生徒の状況把握や問題点の確認をおこない、役割分担あるチーム支援が行えた。</div> <div>・困難事例や、突発的な事故等の発生時の援助体制の一層の整備を図る。</div> <div>・継続事業だけでなく、未然防止の視点からのチーム連携の強化を図る。</div>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		29	特別支援教育支援員配置事業 ・早期支援コーディネーター	総務学事	特別な支援が必要となる可能性がある子ども及びその保護者に対し、学校・家庭・関係機関との連絡・調整を行う早期支援コーディネーターを配置することで、早期からの情報提供・相談会実施など柔軟できめ細やかな対応ができる一貫した体制を整備する。	<div>・LD等専門員や保健師等と連携し、訪問による行動観察や発達検査等から、必要な指導や支援について、保育士や担任等への実効性ある具体的助言指導を行った。</div> <div>・保護者への相談会を実施し、発達障がいをはじめ、様々な支援が必要な幼児・児童について、生活上必要な支援の助言や、就学先についての情報提供等を行った。</div> <div>・早期支援チーム会議での情報共有を通し、3歳児健診からの幼児の実態把握・課題共有に努め、適切な就学支援に向けた具体的連携体制を構築する。</div>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業						評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等			
						主な課題・改善方針・今後の展開等			
1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	① 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	30	特別支援教育支援員配置事業 ・学習支援員等	総務学事	特別支援学級に在籍する児童生徒の内、日常的に介護等が必要な児童生徒と通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の児童生徒に対する学習支援、安全確保等を行うことで担任と児童生徒が安心して授業に取り組める環境を整備し、教育効果を高める。	・学習支援員を配置することで、対象児童生徒の安心できる教育環境を整備するとともに、担任教員の効果的な授業づくりや学級経営に専念できる環境を整備した。 ・学習支援員 岸本小7名 八郷小2名 溝口小2名 二部小1名 岸本中1名 溝口中1名  ・卒業まで継続的な支援が必要となることが多いことや、近年対象児童生徒が増加する傾向にあるため、学習支援員等の確保と、研修会等への参加を促進することで専門知識・技能の一層の向上を図る必要がある。		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		31	学校図書整備及び学校司書配置	総務学事	各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、学校図書館を利用した学習の充実や児童生徒の読書活動推進に寄与する。	・司書教諭補助職員として学校司書を全小中学校に配置し、司書教諭及び学級担任、教科主任等と連携しながら児童生徒の学習を支える学校図書館づくり、読書活動推進に努めた。  ・児童生徒の学校図書館利用を多面的に見つめ、活字離れの解消につなぐ魅力ある環境づくり、読書活動の推進に努める。 ・学校図書システムを全校に導入した。		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		32	校務支援システムの活用	総務学事	校務支援支援システムを導入し、個々の教職員の持つ様々な児童生徒の情報や指導要録などを発信・受信・共有・一元管理することで、教職員の多忙感解消や教育の資質向上を図る。	・教職員の多忙感解消や教育の質向上のため、県内全小中学校に共通の業務支援システムが導入され、平成30年度より運用開始となった。校務支援システムを活用することで、教職員の業務が軽減された。  ・システム研修等を重ねて、一層の有効活用を図る。		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		33	教育支援センター運営事業	総務学事	溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行う。また、いじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。	・通所児童生徒 中学生3人 小学生1人 ・指導員1名、相談員2名を配置 ・毎月定例会を開催しSSWとの情報共有を図り、該当校との連携に努めた。 ・通所生徒の保護者の相談にも寄り添い、関係機関での連携体制の構築を図った。  ・子どもの状況を把握した上での必要な支援について長期的な視点と短期的な視点とを持ちながら、関係機関の一層の連携を図り、子どもの社会的自立をめざした支援に努める。		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		34	就学援助事業 ・要保護、準要保護	総務学事	生活保護、生活保護に準ずる者、非課税・母子家庭等を対象とし、金銭的に生活が苦しい保護者に対し教育費(学用品、給食費)を援助することで、保護者の教育を受けさせる義務の遂行を図る。	・令和6年度認定:94名(61世帯) ※昨年に引き続き、母子、父子家庭が半数以上を占める(48/61)。 ※入学前支給(6名)  ・引き続き、金銭的に生活が苦しい保護者に対し、教育費(学用品、給食費)を適正に援助する。		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	① 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	35	就学援助事業 ・特別支援教育 就学奨励金	総務学事	特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。	・令和6年度認定:24名(22世帯) ※世帯の収入・世帯員によりⅠ～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。 ※支給額は、要保護・準要保護の2分の1程度。  ・引き続き、特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援し、金銭的負担の軽減を図る。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備	36	学校施設整備事業	総務学事	老朽化施設や大規模な修繕が必要とされる施設について、長寿命化や安全性の向上等を図り、児童生徒の教育環境を整備する。	・老朽化した施設の改修工事を行い快適な学習環境を整備した。 【主な施設修繕】 八郷小学校多目的トイレ新設、小荷物専用昇降機改修、特別教室棟修繕工事 岸本小学校下足入れ新設、特別教室間仕切り設置工事 溝口小学校・八郷小学校グラウンド整備工事  ・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		37	小学校施設修繕事業	総務学事	小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 溝口小:空調機修繕工事 八郷小:プールろ過装置循環ポンプ取替ほか 二部小:防排煙シャッター修繕  ・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		38	中学校施設修繕事業	総務学事	中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。 【主な施設修繕】 溝口中:火災受信機修繕、プールろ過機修繕 岸本中:渡り廊下修繕  ・予算等との調整もあるが、安全安心な環境整備のため、引き続き、損傷・劣化・老朽化した施設の修繕を行う。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業						
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	評価	
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	39	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	総務学事	各学校における教材・教具・備品の整備を行うことで、多様化する教育に対応する。	・各学校児童生徒数に応じ、管理備品・振興備品の予算配当を行い、必要な教材・教具・備品を整備した。 ・引き続き、必要な備品等を整備し、多様化する教育に対応していく。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		40	学校安全体制整備推進事業	総務学事	小学校において、実践的事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	・中学校区ごとにスクールガード・リーダーを各1名配置。定期的に学校・通学路等の巡回、児童・生徒への指導、学校への助言等を行った。 ・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。今後、後継者の人材確保を検討していく必要がある。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		41	バス事業担当課との連携	総務学事	バス事業担当課と連携をとり、スクールバスによる通学を、より安全かつ充実するよう運行体制の充実を図る。	・関係機関等と協力し、スムーズなスクールバス運行体制を確保した。 ・引き続きバス担当課と連携をとり、ニーズ等を踏まえた利便性の高い運行体制やバス利用の際のマナーの徹底などに取り組む。事故等があった場合の対応について検討する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		42	ICT環境の整備	総務学事	ICT教育の充実を図るため、設備・ソフト等ICT環境を整備する。	教員支援のためのICT支援員の配置(1名)、導入機器の保守管理・トラブル対応、フィルタリングソフトの導入による有害サイトアクセス制限やオンライン授業で発生する著作権料支払い(授業目的公衆送信補償金)等により、効果的かつ安定的なICT活用体制を整備した。 ・引き続き、ICT教育充実のために設備等の修繕等、環境整備を図るとともに、教員支援も行う。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		43	防災教育・避難訓練・防災関係計画の充実	総務学事	各学校毎に防災教育・避難訓練・避難計画作成等を行い、災害時等における児童生徒の安全確保に努める。	各学校作成の学校安全計画や危機管理マニュアルに基づき、防災教育、避難訓練等を実施した。浸水想定区域や土砂災害警戒区域にある学校については、水防法及び土砂法に基づき避難確保計画を策定し、緊急時に備え各小中学校で避難訓練等を実施した。 ・今後は、避難確保計画等に基づく防災・避難訓練などを行い、緊急時の対応能力を高めるほか、PDCAサイクルにより計画等の実効性を高めていく必要がある。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	44	学校給食施設管理運営事業	給食センター	安心・安全な学校給食を提供するため、給食センターの適切な管理を行う。	・調理業務等の民間委託を引き続き実施(現契約は令和7年度まで)。 ・各種細菌等検査の実施、清掃・衛生の徹底など。 ・調理委託事業者から報告があった調理備品等の不具合修繕、買い替え。 ・学校給食食物アレルギー対応委員会を開催し、アレルギー対応の問題点等がないか確認を行なった。 ・学校薬剤師と連携し調理現場の改善に取り組んだ。次年度以降も継続し散り組む。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						・引き続き、安心安全な学校給食提供に支障が出ないよう、事務等を進め、アレルギー対応については、問題点等があれば改善していく。		
		45	学校給食費補助事業	給食センター	給食費の保護者負担を軽減するため、1食につき222円(11月～3月は232円)の補助を実施する。 1食当り保護者負担額 小学生100円、中学生150円	・給食費の値上げに伴い、保護者負担が増えないよう1食あたりの補助額を前年210円から12円(11月～3月は22円)増額した。 ・保護者負担の軽減と安定的な給食の供給ができた。 ・222円/食(11月～3月は232円/食) ・補助額 32,003,126円	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						・令和7年度は、学校給食費 1食当り13円を値上げするが、併せて補助額を1食当り13円増額し、245円の補助を行い、保護者負担の軽減を図っていく。 1食当り保護者負担額 小学生100円、中学生150円		
		46	食材供給連絡協議会との連携	給食センター	伯耆町内の農業生産者で構成する組織である食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の食材使用に努める。	・協議会との調整会議を月1回開催 ・伯耆町産使用率【鳥取県調査対象の44品目(野菜だけでなく、魚介類等も対象)のみの割合】44.5%(前年度56.3%) ・町内産のみで賄えた主な食材 スナッペンとう、グリーンピース、水菜、なす、梨、メロン、モロヘイヤ、にんにくの芽、かぶ、わらび、レタス、ゴーヤ、ズッキーニ、いちご、オクラ、青しそ等	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						・町内産食材の使用率の一層の向上 ・協議会会員の高齢化等に伴い、会員数が徐々に減少。町内生産者の拡大を図ることを検討していく。		



計画分類		主な事務事業						
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	評価	
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備(つづき)	②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	47	伯耆町教育振興会事業 ・学校事務	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	・共同学校事務室で取り組む業務の改善と標準的な職務内容を理解し校務運営に参画することを重点目標として、定期的な会合を開催し、共同学校事務室で取り組む事項についての業務分担・調整や危機管理研修として安全点検に関する研修を行った。 ・共同学校事務室として予算執行できるように予算科目の整理を行った。 ・事務改善について検討し、事務の効率化を図ることができた。  ・引き続き、共同学校事務室での業務について更に調整・検討していくことで、校務運営への参画につなげていく必要がある。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
2-(1) 学校・家庭・地域・行政の連携	①家庭・教育の充実	48	家庭教育支援事業	生涯学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。	・親子で川柳を考えたり、読みあったりすることで家族の絆を深めるきっかけになることを目的とし、家庭の日川柳を募集し、たくさんの応募があった。 ・青少年育成伯耆町民大会の家庭教育講演会を開催し、約120名の参加者が集まった。保小中保護者、地域、教職員等、小中学生を対象に、子育てについて親子の関わり方についての講演会を実施した。各保育所、学校における家庭教育・子育て講演会も開催。 ・各保育所、小中学校、子育て支援センターで保護者対象の家庭教育講演会の実施につとめた。 ・1歳6か月健診の待ち時間を活用して、家庭教育支援チーム事業「読み聞かせのすすめ」を実施。 ・チームの構成各課での取組や家庭教育支援チームの取組の周知をねらい、広報等で知らせた。各課での取組や家庭教育講演会について情報交換し、取組の広がりにつながる協議を行った。  ・今後も保育所・小中学校、家庭教育支援チームとの連携を図り、親育ちの観点で取組を推進する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		49	家庭教育ハンドブック配布及び活用事業	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について解説した「家庭教育ハンドブック」を小学校新入学生に配布する。	・小学校入学生への配布の際に、就学前から中学校卒業を見据えた町HP掲載の3冊(前期編・中期編・後期編)の紹介を行い、活用を促した。 ・学年懇談・学級懇談で、話題とする事項に関連するページを配布。 ・保育所職員にも、前期を配布し内容の周知と活用をお願いした。  ・令和8年度に向けて改訂版家庭教育ハンドブックを作成し、配布を引き続き行いたい。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 学校・家庭・地域・行政の連携(つづき)	② 安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備(つづき)	50	PTA協議会補助金	生涯学習	町内小中学校6校のPTAが合同で活動を行う伯耆町PTA協議会に対し補助金を交付することで、PTA活動の活性化に寄与する。	町と共催で青少年育成伯耆町民大会(家庭教育講演会)を開催したが、講師謝金等必要な経費は町費から支出しているため、補助金の交付実績としてはなかった。  伯耆町PTA協議会との連携体制を継続しつつ、PTA活動の活発化に向け支援する。伯耆町PTA協議会が必要とされる場合は、補助金を交付する。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	② まち全体で子どもを育む地域と共に創る学校の推進	51	学校運営協議会運営事業	総務学事	学校運営協議会制度(コミュニティ・スクール)を導入し、保護者・地域・学校が一体となって、学校経営に参画し、地域に開かれ、地域に根差した学校づくりに取り組む。 平成30年度からは、各学校運営協議会の調整、学校支援活動の情報提供や地域学校協働本部事業の運営を行うため、CSディレクターを配置した。	・全小中学校で学校運営協議会指定及びCSディレクターを配置し、各コミュニティ・スクールや地域学校協働本部事業の連携・調整・情報共有等を推進する伯耆町教育ネットワーク会議を設置することで、一体的に「地域とともにある学校づくり」を推進することができ、教職員の地域に対する意識改革や地域・保護者の学校経営への理解を深め、積極的な協力が得られるようになった。児童生徒も地域に目が向くようになった。 ・八郷小学校学校運営協議会が地域活性化に貢献したことが評価され、文部科学大臣表彰を受賞した。  ・学校運営協議会の取組を広報誌で紹介するなどして、町民へのさらなる周知を行う。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		52	地域学校協働本部事業	生涯学習	地域住民が教育に関心を持ち、学校の教育活動に関わることで、子どもたちに多様な体験と交流の機会を提供し、確かな学力と人間力を向上させる。大人にとっても、新しい仲間づくり、生きがいつくりなど、地域の絆づくりに繋げる。	①実績 てごネット(地域の大人→学校・保育所支援):332事業 1410人 ゆめネット(学校の児童・生徒→地域貢献活動):13事業 217人 ゆめネット(中学生の休日の地域貢献活動):60事業 217人 ②会議 コーディネーター定例会6回 地域学校協働本部実行委員会年2回 ③研修 全国CSコミュニティ・スクール研究大会 県コミュニティ・スクール推進研修会兼地域学校協働活動研修会  ・持続可能な学校支援ボランティア体制の充実。子どもたちから地域に向けた「地域貢献活動(ゆめネット)」の推進。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進。 ・学校教職員と地域コーディネーターとの連携・協働による、社会に開かれた教育課程の実現(伯耆I学習を中心とした地域学習の充実)に向けた取組及び小中一貫した流れに沿ったコミュニティ・スクールの取組推進。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(1) 学校・家庭・ 地域・行政 の連携(つづき)	② まち全体で 子どもを育 む地域と共 に創る学校 の推進(つづき)	53	伯耆町教育ネットワーク会議事業	生涯学習	社会の一員として自立していく児童生徒育成に向け目指す人間像を設定し、その実現に向けた保小中一貫した共通の取組等の協議を行う。	「あいさつの響きあう町 伯耆町」の取組を推進するために、学校・保護者だけでなく、より広く地域住民と目標を共有する取組を進めた。→ チラシ、ポスター、広報紙、防災無線、のぼり旗等の広報活動を工夫しながら、効果を上げた。  引き続き、関係機関、地域住民に運動を広げていくために、実施状況を把握し、広報誌等を活用した広報活動を行う。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		54	子供の体験活動事業	総務学事	各学校で独自に、地域学校協働本部と連携し、地域の協力を得ながら、体験活動を実施する。	主な活動 ○作物・米・花栽培 ○遠足の協力○学習の支援 ○スキー教室等  学校の教育課程と関連させた活動に地域の方々を巻き込んでいけるよう、学校運営協議会や学校支援コーディネーターと引き続き連携していきたい。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		55	放課後子供教室	生涯学習	子どもたちの放課後の居場所づくり・保護者の就労支援のほか、子どもたちが安心・安全に過ごしつつ、異学年交流・地域の大人との交流や体験活動などを通じて、コミュニケーション力や地域のつながりを育む。また、放課後児童クラブとの連携も図り、一体型の取組を進める。	実施状況 ・溝口小放課後子供教室 週3回(月・火・木) 79回 ・岸本小放課後子供教室 週3回(火・水・木) 93回  主な活動 ・体力づくり、学習、読み聞かせ、工作等 ・季節を重視したプログラム、指導者の得意分野を生かした指導の工夫等 ・ゲストティーチャによるイベントの開催(星座の話、読み聞かせ、木工教室、オカリナ演奏、地域楽団による演奏会等) 一体型の工夫 ・児童クラブ指導員との連携による教室の開催・見守り体制の工夫  ・安全管理マニュアルの活用と安全面を十分に配慮した活動。(熱中症対策等) ・指導する人材の確保と指導体制の充実(情報共有による活動状況の把握と改善に向けての協議)。学期2回程度の外部指導者によるイベントを開催する。 ・マチコミによる欠席連絡を継続し、連絡の徹底を求めた。指導者との連絡を意識して行い、運営の改善を図る。 ・児童クラブ所属児童の参加のあり方についての検討。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(1) 学校・家庭・ 地域・行政 の連携(つづき)	② まち全体で 子どもを育 む地域と共 に創る学校 の推進(つづき)	56	伯耆町教育振興 会事業 ・地域教育	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	ほうき「ひとまち未来」アクションフォーラムへの参加(天候不良により後日動画配信) 「地域の資源を知るための事業」として、二部地区活性化推進機構に講師をお願いし、ふるさと巡り研修を実施した。 ・「地域の資源(人、もの)を知るための事業」として、各学校のコミュニティスクール担当と学校支援コーディネーターの情報交換会開催を検討する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
2-(2) みんなで取 り組む青少 年の健全育 成	① 「共育」「見 守り」環境の 整備	57	青少年育成伯耆 町民会議運営支 援	生涯 学習	地域全体で青少年の健全育成の推進を図ることを目的に、町民会議を支援し各種事業を行う。	・委員会の開催(2回) ・青少年育成伯耆町民大会を、1/25に開催。 ・町民あいさつ運動の実施(4回) ・マナーアップさわやか運動参加。 ・少年を守る店啓発事業(25店舗) ・「家庭の日」川柳の募集(応募数832点) 「家庭の日」川柳について、入選作品(33点)をCATVで放送するなど周知を図った。 ・通学合宿を実施。 ・青少年育成伯耆町民会議の活動を町民に広報やHPでの周知が必要。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		58	高校生サークル (旧)高校生ユース セミナー)	生涯 学習	町内の高校生でサークルを組織し、地域貢献活動や事業の企画・運営を通して、地域愛や自主性・責任感を高め、まちの将来を支えるリーダーの育成を図る。	・町内2駅を利用する高校生、卒業する中学3年生に対し加入促進チラシの配布し、JR岸本駅・伯耆溝口駅構内にポスターの掲示した。 ・実際に地域の祭りに参加し、ボランティアとして参加する高校生や来場者へPRし、加入を促した。 ・現在加入者1名。 ・コロナ禍以前は先輩が後輩を引き込む形でサークルが存続していたが、コロナ禍をきっかけにその繋がりが途切れてしまい、メンバー集めに苦戦している。 ・継続的に事業を行えるよう、中学生年代からボランティア活動に積極的に参加している児童に声をかける等工夫が必要。 ・高校生と直接会って話すことで意外にもサークルに興味を持って話を聞いてくれる生徒も多かった。サークルに加入してもらえよう更なる繋がりがりづくりやPRを行っていきたい。	▲	継続事業達成不十分50%以上又は新規事業未達成30%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つづき)	② ふるさとを支える青少年の育成	59	子供の体験活動事業	岸本 公民館	夏休みを中心に、学校、地域と連携し、子どもたちを対象に自然体験、創作活動等多様な学習機会を提供する。事業の企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。	・学校、地域、公民館教室等の連携をもとに、自然体験、文化活動などの体験を通して子どもたちの協調性や社会性の醸成を図った。 ・夏休み体験事業は公民館教室体験事業(5教室6事業)や公民館主催事業の巣箱作り、アユ友釣り体験、米子高専出前講座を実施し、67名の参加があった。 ・土曜日のお楽しみでは、1回の開催で20名の参加があった。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						・引き続き八郷小児童も参加しやすように八郷小学校を会場とした子ども体験事業の機会を設ける。		
							溝口 公民館	・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持った子どもの育成を図った。高齢者教室の学園生や公民館各教室・同好会、また地域の方々の協力で、世代間交流を推進した。 夏休みお楽しみ事業11(前年8)事業を実施し、126(前年106)名参加があった。冬休みのお楽しみ事業1(前年2)事業を実施し、21(前年21)名の参加があった。土曜事業4(前年3)事業を実施し、68(前年62)名の参加があった。また、中学生ボランティアも事延べ7人の参加があった。
			・子どもたちの興味関心を喚起する工夫も大切にしながら、子どもたちに体験を通じて日本の伝統的文化等は継続発展させるよう取り組んでいく。 ・子供の体験活動を通じて地域貢献ができるような事業を企画していきたい。					

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つづき)	② ふるさとを支える青少年の育成(つづき)	59 (つづき)	子供の体験活動事業(つづき)	二部 公民館	夏休みを中心に、学校、地域と連携し、子どもたちを対象に自然体験、創作活動等多様な学習機会を提供する。事業の企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・地域・公民館教室の連携をもとに、自然体験、ものづくり活動、地域歴史体験などを通して、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。</li> <li>森のようちえんの子どもたち・保護者及び二部地域で活動している団体(つくしの会、二部梁山泊、だんだんプロジェクトなど)と協力し事業を実施した。</li> <li>・夏休みの事業 実施回数:16 延べ参加人員:504名</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民・子ども・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進。</li> <li>・4館合同の事業を継続していき、子どもたちの交流を図る。</li> <li>・工作教室など、体験のできる講座を引き続き開設する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		60	二十歳を祝う会((旧)成人式)	生涯 学習	明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、二十歳を祝福し激励する記念式典を開催する。	開催日:8月15日(木) 会場:鬼の館 参加者:80名 式典の様子を収録し、後日動画配信サイトで配信を行った。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つづき)	② ふるさとを支える青少年の育成(つづき)	61	通学合宿事業	生涯学習	「青雲寮」で子ども達が共同生活を行いながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努める。	3泊4日の期間、通学合宿を実施した。実施後のアンケート結果より子ども達だけで過ごす過程で感謝する心や自信をつけた児童が多かった。また事前にスタッフ説明会を開催することでねらいなど共通理解が図れ、スムーズに事業を運営することができた。 実施日:9月23日(月)～26日(木) 参加者:15名	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		62	読谷村教育交流	生涯学習	沖縄県読谷村と伯耆町の子どもとの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。	隔年実施のため、令和6年度は未実施。  民泊や文化交流を通して異文化を学ぶとともに、改めて伯耆町の文化、風土を学ぶきっかけとする。また、高校生サークルの活動として事業参加を検討し、身近な指導者として活躍の場を提供する。H26読谷村との協定に基づき小学生の相互交流を主に事業実施。	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進	①生涯学習の推進	63	公民館改修又は空き公共施設の有効活用	生涯学習	溝口中学校特別教室棟の老朽化のため改修が必要な状況のため、調理教室を青雲寮に移転することで施設の有効活用を図るよう、令和2年度に改修工事を完了した。	学校の授業、PTA、スポ少、通学合宿等で活用した。  引き続き学校教育、社会教育の活用場として有効活用を図る。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		64	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	岸本公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。 また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。	・松栄学級(高齢者学級、受講生48名)は、4月に開講式を行い、年8回開催することができた。延べ212名の参加があった。(2月は大雪のため中止) ・成人講座は盆踊り講習会を2回開催し、25名の参加があった。 ・家庭教育支援講座は、親子写真教室(植田正治写真美術館フォトスクール参加)を開催し、10組20名の参加があった。 ・八郷地区の住民に対し、生涯学習機会の提供を図るため令和元年度から図書館と連携し八郷小学校を会場に出張公民館・図書館を開催する予定だったが、令和5年度の1回(参加者1名)を最後に行っていない。  ・松栄学級の受講生数は、平成30年度から35名程度で推移しているが、コロナ禍明けとなった令和5年度に増加に転じ、令和6年度は48名となった。アンケートを反映し、町外研修や参加してみたい講座を実施する。また、送迎バスを運行していること等周知を図る。 ・出張公民館・図書館は、八郷小学校を利用していることもあり、平日の限定された時間の開催で、会場までの交通の便などに問題もあったと考えられる。八郷文化展への協力など実施方法を検討する。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				溝口公民館		・貴寿美学園(高齢者教室) 町内外研修 計11回(昨年11回)開催 延べ306名(昨年271名)参加。高齢者へ他機関と連携して様々な分野から学びの場を提供し、生きがいや健康づくりと合わせ、他の公民館との交流促進を図った。 また、布絵本づくり体験教室を月2回のペースで開催し、参加者アンケートでの振り返りは満足度が高い。延べ141人参加(前年121人)、年間21回(前年21回) ・成人講座として手作り教室を6回(前年4回)開催し、延べ83人(前年64人)の参加があった。 ・家庭教育事業として3事業を開催し65人の参加があった。  ・引き続き継続して呼びかけを行っていききたい。学園生や住民のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していききたい。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上



計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき)	①生涯学習の推進(つづき)	64 (つづき)	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)(つづき)	二部 公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供する。 また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民・子供・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進していきたい。</li> <li>・4館合同の事業を継続していき、子供たちの交流を図りたい。</li> <li>・工作教室など、体験のできる講座を引き続き開設していきたい。</li> </ul>	○  継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>多々楽学園:会員数39人、事業実施回数12回、延べ参加者数128人</li> <li>女子学級:会員数50人、事業実施回数11回、延べ参加者数99人</li> <li>引き続き会員等のニーズを把握しながら、学びの多い研修・講座を企画したい。</li> <li>・会員数はいずれも横ばい傾向であるが、既会員の呼びかけや、地域での呼びかけを行い、多くの地域住民に参加いただけるよう努力したい。</li> </ul>	
		65	高齢者教室交流事業	溝口 公民館	各公民館の高齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を行なうと共に、相互の親睦と交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日光学園(高齢者教室 受講生24名)は、町外研修や人権学習・健康講座など計8回延べ78名の参加があった。</li> <li>・ふるさと学級では、添谷産のパパイヤを使った豚汁やそば打ちに取り組んだ。2回36名の参加があった。</li> </ul>	○  継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・日光学園生の高齢化により会員が減少傾向だが、声掛けにより参加者の減少に歯止めをかけたい。</li> <li>・日光学園生以外の参加を促すため、地区住民に行事を周知していく。</li> <li>・住民ニーズに合った魅力のある事業内容を検討していきたい。</li> </ul>	
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・伯耆町内の4つの公民館合同の研修会は、講演、交流会だけ実施した。参加者78名 開催日:7月5日(金) 会場:鬼の館</li> <li>・4公民館の高齢者教室学級生寄稿による文集「だいせん」を作成・配布 作成部数 230部 出筆者18名</li> </ul>	○  継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者学級の役員で構成する「合同役員会」を開催により、企画立案を図る。参加型の講演により、参加者の満足度が向上。4公民館協力して継続実施していきたい。</li> <li>・文集「だいせん」の作成は、学園生に負担感となることがないように配慮する。</li> </ul>	

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき)	①生涯学習の推進(つづき)	66	社会教育委員	生涯学習	社会教育の推進のために法に基づく委員を委嘱し、社会教育施策等について、事業計画・事業実施結果等の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。	・社会教育委員会開催(2回) ・社会教育に関する政策等について意見聴取を行った。  ・県主催の研修会など、独自に勉強していただく機会の場を提供する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		67	生涯学習まちづくり推進事業	公民館	生涯学習に関する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。	・CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談 ・ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月) ・伯耆町ホームページで生涯学習に関する催し物、情報提供 ・四館の公民館同好会(教室)募集チラシをまとめて、区長便で全戸配布  ・出張公民館・図書館は、八郷小学校を利用していることもあり、平日の限定された時間の開催で、会場までの交通の便などに問題もあったと考えられる。八郷文化展への協力など実施方法を検討する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		68	社会教育主事等の育成	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。	・西部市町村の社会教育主事等で構成する西部地区社会教育担当者研究協議会及び西部地区社会教育協議会に参加し、情報交換や共同事業を実施した。 ・資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、経験を積むことができた。  ・今後も継続して研修会等に参加し、資質向上や情報交換に努める。社会教育主事は1名発令されている。必要に応じて、新規の社会教育主事講習受講者を増やしていきたい。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		69	地区公民館との連携	公民館	地区公民館との連携を強化するため、公民館定例会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催する。	・生涯学習室と各公民館で定例会(月1回開催)を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、円滑な業務連携を行うことができた。  ・情報交換等により、有効な事業を他の公民館も実施するなど、良好な連携ができており、継続実施する。また、小中学校を活用した公民館活動について、学校運営協議会などで検討し、学校と地域が連携した取り組みを推進したい。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進 (つづき)	②読書活動の推進	70	図書館管理事業	図書館	<p>・「読書活動」が大人から子供まで生涯学習の基盤になることから、すべての世代に向けた事業を展開し、少しでも多く「読書」に親しむ環境づくりに努める。特に「読書」が子どもの脳の発達に影響することや認知症予防に影響を与えるという脳科学の見地から、子どもの読書習慣構築の支援や充実を図る。</p>	<p>・読書活動を推進するため、図書館来館の契機となる事業を展開した。  5月・・・子ども読書推進イベント  6月・・・木村研さんとおもちゃをつくろう  8月・・・よるの図書館(スタンプラリー)  9月・・・よるの図書館(ぬいぐるみおとまり会)  10月・・・図書館へ行こうキャンペーン  11月・・・秋の読書週間イベント  12月・・・クリスマスコンサート</p> <hr/> <p>・図書館から遠い場所にあって、図書館を活用したいと希望する地域に図書を届けることを目的として「出前図書館」を活用してもらう。希望する集落に届ける。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき)	②読書活動の推進(つづき)	71	図書館振興事業	図書館	・利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、親しみやすく、かつ開放的な施設として、また町づくり、人づくりに役立つ施設として、新規事業を加えながら、各年代への読書推進に努める。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。	(1)子育て支援事業 ・ブックスタート事業(年6回)、ブックセカンド事業、ブックサード事業、にこにこおはなし会、乳幼児出前おはなし会、保育施設への本の配送 ・家庭教育・子育て支援チームとの連携、読み聞かせの効用・スマホ被害等啓発 (2)学校支援事業 ・団体貸出し及び本の配送 ・施設見学、職場実習受け入れ ・学校図書館支援センターとしてのレファレンスの確立 ・町教振図書館部会との連携により、各学校における図書館教育の充実支援 ・町小中学校共通年計の作成(県立図書館と協力)指導案の作成 ・学校へのシステム導入に関わる研修の充実 (3)読書活動推進事業 ・こどもの読書週間事業 ・秋の読書週間事業 (4)高齢者支援事業 ・あたまイキイキ音読教室 ・高齢者福祉施設への本の配送 ・出前図書館 (5)広報事業 ・図書つうしん発行 ・町ホームページ掲載 ・CATV「とっておき図書館」コーナーの充実 (6)研修事業 ・鳥取県図書館大会への協力 ・町内図書館視察 ・県立図書館主催研修参加 (7)検索機器導入(岸本図書館) ・農文協データ(アーカイブ)検索(各館独自事業) 【溝口図書館】・布絵本ちくちく教室開催(24回)  ・図書館らしい事業づくりとは、おはなし会、読み聞かせコンサート、音読教室等、図書館資料を活用した事業であると考え取り組んでいる。また、子供の読書活動推進は、子育てに直結している。啓発活動の一環として、読み聞かせの重要性やスマホの被害などを保護者に啓発することも公共図書館の重要な役割であると捉え、今後も関係課等と連携を図りながら、子育て支援に積極的に参加していく必要がある。 ・布絵本ちくちく教室では会を重ねるごとに本としての多数の作品が完成している。布絵本は乳幼児が触っては遊ぶことに特化した知育玩具であるので、今後町内の保育施設に貸し出すなど、有効活用を検討していく。 ・令和5年に小学校の教科書が改訂されたことから、図書館としても授業に活用できる資料を新たに選書し、レファレンスに備えていく。 また、図書システムの導入により、今後、学校司書、司書教諭の相談を受けることが増加すると見込まれる。図書館職員の研修を図りながら、学校図書館支援センターとして機能を整備する。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進 (つづき)	②読書活動の推進(つづき)	72	図書館協議会委員	図書館	・図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、事業計画・事業の実施結果の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。	<p>・図書館協議会を年3回開催し、委員の方から意見を聞くことができた。計画推進の後押しをしていただくことができている。</p> <p>・町内の読書活動において地域差が存在することから、希望する地区に「出前図書館」を行っている。図書館協議会では、さらに発展した事業として移動図書館車の導入の意見を引き続きいただいているが検討には至っていない。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(2) 人権尊重のまちづくりの推進	① 人権尊重のまちづくりの推進	73	人権教育推進事業	人権政策	人権教育推進を目的に、人権教育推進員を配置し、人権に関する諸問題を学び・理解していただくための各種事業を行う。	<p>人権教育・啓発活動の企画運営及び、各種学習会を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ひまわりセミナー開催10回実施参加者281人</li> <li>・県外研修会への職員派遣</li> </ul> <p>ひまわりセミナーでは、年間10回を企画し学習機会の充実に努める。職員の県外研修派遣を行う。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		74	人権教育・啓発推進協議会運営事業	人権政策	伯耆町人権教育・啓発推進協議会の運営・活動を支援するとともに、各種事業を開催し、人権教育・啓発の推進を図る。	<p>(1)人権教育・啓発に関する調査研究及び実践</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種人権週間広報啓発活動</li> <li>・行政職員悉皆研修(「差別の現実から学ぶ」講話・差別対応マニュアル等について5回実施・参加者は役場の会計年度任用職員を含む職員は悉皆)</li> <li>・人権啓発標語の募集及び表彰(応募数808点)</li> </ul> <p>(2)研修会及び講演会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明るいまちづくり懇談会(参加型学習で、5集落開催)視聴覚教材等による学習を併用した。</li> <li>・伯耆町人権フォーラム2024(参加者171人)</li> </ul> <p>(3)資料の刊行及び啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権カレンダーの作成・配布(町内全戸・企業)</li> <li>・伯耆町人権だよりの作成・配布(町内全戸)</li> <li>・人権カレンダーを事業所部会の企業へ訪問配布</li> </ul> <p>(4)関係機関団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究校の指定と授業研究会の開催</li> <li>・研修会への参加</li> <li>・各種団体の活動支援</li> </ul> <p>・明るいまちづくり懇談会を再開したが、集落の意向も考慮して従前の方法に新たな工夫を加えて、より充実させるよう努める。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(2) 人権尊重のまちづくりの推進(つづき)	① 人権尊重のまちづくりの推進(つづき)	75	文化センター管理運営事業	文化センター	地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題解決のための各種事業を総合的に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"><li>・地区学習会(5月～3月、月2回) 小学生(5人) 22回(たぐしクラブも参加) 延べ263人(うち地区児童106人) 中学生(0人) R6年度は対象者なし</li><li>・地区学習会だより「ひまわり」を発行し、保護者との連携を図ることができた。</li><li>・相談事業 随時</li><li>・各種教室 4教室毎月1回 生徒数:おんがく8人 編物6人 料理10人 芸能2人(今年度からわくわく土曜日終了後に実施し、こどもの参加あり)</li><li>・各種講座 年15回 94人参加</li><li>・ミニデイサービス事業 ゲーム、レクリエーション、創作活動、会食などを取り入れ、楽しめる憩いの場として定着。地域活動への参加につながっている。延べ11回145人参加</li><li>・百円ランチ 11回 134人参加</li><li>・交流研修事業 町内外からの研修、児童を受け入れて地区の歴史・体験・活動などを伝え、人権意識の高揚や差別解消に努めた。 5団体 137人参加</li><li>・だんだんまつり 2月 320人参加</li><li>・その他児童館事業(わくわく土曜日、夏休みのお楽しみ)、センターだよりの発行等を実施し、人権教育推進や地域活性化に努めた。</li></ul> <hr/> <p>今後も継続して、地域住民の方と連携し、各種相談事業、社会福祉に関する事業、健康対策に関する事業及び人権に対する理解を深める活動等を行い、地域住民の方の生活の向上を推進する。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		76	男女共同参画推進事業	人権政策	家庭並びに社会生活における活動等への男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画推進計画を基に、各種事業を実施する。	<p>平成28年度から総務課に移管となり、男女共同参画推進計画の策定については、総務課で行っているが、個別の人権課題の一つとして引き続き啓発に取り組む。</p> <hr/> <p>今後とも総務課と連携して啓発活動を継続して実施する必要がある。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		77	町営住宅修繕事業	人権政策	老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、住環境の充実を図る。	<p>老朽化が進行する町営住宅の修繕を行い、住環境の充実を図った。平素から入居者の連絡に速やかに適切に対応するようにしている。</p> <hr/> <p>町営住宅の適切な管理を行うため入居者とのつながりを大切にして、速やかで適切な修繕や住環境の維持に努める。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造	① 文化財の保存と活用	78	埋蔵文化財調査事業	生涯学習	開発に伴って事前に試掘調査を行い、埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事業者との調整を図る。	本年度実施する必要がなかった。		
					開発に伴って事前に試掘調査を行い、埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事業者との調整を図る。			
		79	文化財保護事業	生涯学習	本町にある指定文化財等の維持管理及を行う。また、出土品の展示や歴史文化に関する講演会等を開催し、郷土の歴史学習の機運を醸成する。	・国指定文化財 1件、県指定文化財 2件、町指定文化財 11件 ・指定文化財等の維持(草刈り、除草等)を実施した。 ・文化財保護審議会を開催し、指定文化財等の適切な管理等について協議を行った。令和7年3月28日開催。 ・企画展示「近代伯耆のタイムカプセル」令和6年12月14日～21日 矢田貝家住宅 観覧者60名	文化財保護審議会の意見を基に適切に指定文化財等の管理に努める。郷土の歴史や文化に触れることができるように講演会の開催や情報提供を行う。	○
		80	文化財整理・保存施設管理事業	生涯学習	空き施設である旧鬼ミュージアムを文化財整理・保存施設として再整備するとともに、民俗資料及び文化財の常設展示を行い、貴重な資料・文化財を後世に伝える。	過去の発掘調査によって出土した埋蔵文化財や民俗資料が約1,000点ある。文化財整理員を任用して文化財の整理を行った。保管している資料にどのようなものがあるか悉皆調査を行い一覧表を作成し、詳細調査を行った。  今後は展示場所を確保し、具体的にどのような資料を取扱い、どのような展示内容にするのか検討していく。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上



計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき)	② 地域芸術文化の振興	81	地区文化祭・まつり開催事業	岸本公民館	公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。 実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。	令和6年度の岸本公民館きないや祭は、11月16(土)・17日(日)に岸本公民館、岸本小学校体育館を会場として開催した。 ・新型コロナが5類に移行したことから、昨年度に続いて通常開催となった。 ・作品展、行政展など展示関係を岸本公民館で、フリーマーケットや公民館教室等の発表を岸本小学校体育館で開催することができた。 ・豚汁の無料提供や青空市、吉長市も通常開催。 ・2日間の来場者数約2,000人	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				溝口公民館		・溝口公民館祭 3月22・23日開催 23日は溝口彼岸の市との共同開催となった。実行委員会を組織し、住民参画による運営に務めた。運営面で、中学生・高校生ボランティアの協力があり助かっている。体験コーナー、作品展示、溝中吹奏楽部演奏、くろぼくコンサート、JA女性会の物販、食改の試食コーナー、本のリサイクル市等を行った。出演サークルが一丸となって発表へ取り組み、頑張りを多くの方へ賞賛してもらえる場となったことは良かった 1日目323人(前年282人)・2日目803人(前年646人)。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				二部公民館		・第40回たたらまつりを 2月22日～23日で、実施した。 ・開催にあたっては、地域住民の積極的な参画により、まさに「地域住民手づくり」のまつりにしていきたい。  来館者：394人  ・地域住民が主体となった「二部地区手づくり」のまつりが開催できており、引き続き地域住民主体のまつりを企画運営していきたい。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等			
						主な課題・改善方針・今後の展開等			
3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき)	② 地域芸術文化の振興(つづき)	81 (つづき)	地区文化祭・まつり開催事業(つづき)	日光公民館		・第45回日光ふるさとまつりを3月8日～9日に開催した。 ・各種同好会や地区住民等の作品展示・フリーマーケット・農産加工品の物販に加え、日光そば・餅つき・食改の試食コーナー・体験コーナー、義方公民館の海産物の即売などを行った。 参加者330名(前年240名)		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		・実行委員会を組織し住民参画により、地区住民の意見を十分に取り入れた事業内容を検討していく。							
		82	写真美術館管理運営事業	美術館	美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介や地域の写真芸術・文化の振興に寄与する。	・予定どおり年3回の企画展を開催した。地元新聞紙、その他雑誌等掲載し集客を図った。 ・9月21日に秋篠宮内親王佳子殿下が来館され、1時間15分にわたって館内をご視察されるとともに、伯耆町在住の写真部高校生3名と御懇談された。		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		令和7年の開館30周年に向けて、企画展の準備を行う。							
		83	写真美術館改修事業	美術館	施設の老朽化や損傷等について、更新・改修等を行うことで、展示環境や来館者の利便性・観覧環境の改善を図る。	令和6年度は予算計上なし		/	/
				・映像展示システムが老朽化により不具合が出始めているため、更新を検討する必要がある。 ・蛍光管の製造が廃止になるため、全館LEDにする必要がある。 ・空調設備が設置後15年経過し故障も出始めているため、更新を検討する。					
		84	鬼の館運営事業	生涯学習	本町の文化拠点として、文化に直接触れる機会の提供、各種団体の研修や町内サークル等の発表の場として文化団体の支援・利用促進及び施設の維持管理を行う。	適切な維持管理を行い、町内サークル等の発表の場を提供した。 利用件数:104件、利用人数:3,572人		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
				・引き続き文化団体や個人の発表の場を提供するとともに、住民が文化に直接触れる機会を提供していく。					

計画分類		主な事務事業					評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等			
						主な課題・改善方針・今後の展開等			
3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき)	② 地域芸術文化の振興(つづき)	85	地域文化活動の支援	生涯学習	豊かでうるおいのある生活を創造するため、芸術文化の振興・育成を図り、町内芸術文化事業を充実する。	地域文化活動の支援のため、伯耆町文化振興会の支援と、各種文化事業を計画した。 ・文化振興会の支援 詳細はNo.88参照 ・文化講演会 6月15日(土) ・伯耆町美術展 11月9日(土)～11日(月) ・ほうきミュージックフェスト2024 6月30日(日) ・伯耆町民音楽祭 8月25日(日) ・歴史探訪 7月9日(火)、11月13日(水) ・くろぼくコンサートの支援 ゆめネットを活用し、中学生ボランティアにイベント当日の運営に参加してもらった(音楽祭:1名、美術展:3名)。		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		86	文化活動団体支援事業	生涯学習	町内の芸術文化活動を行う団体への支援を行ない、文化活動の振興に努める。	・鬼面太鼓振興会・岸本風神太鼓振興会へ補助を行い、後継者育成、演奏技術の向上等活動を支援した。 ・町内文化活動団体の練習会場として、鬼の館を無償で貸し出した。		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		87	文化振興会補助事業	生涯学習	町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援する。 会員数38人(令和7年3月現在)	○総務部会 ・総会(6月15日、文化講演会後に実施) ・文化講演会(講師 県立美術館館長 尾崎信一郎氏) ・会報20号発行(全戸配布) ○音楽部会 ・第19回町民音楽祭(14団体参加、来場者260人) ・ほうきミュージックフェスト2024(3団体参加、来場者170人) ○美術部会 ・第20回美術展(一般展示49点、特別展8点、児童生徒92点展示、来場者410人) ○歴史文化部会 ・歴史探訪(「青谷かみじち史跡公園ほか」参加者29人、「出雲街道二部宿ほか」参加者19人)		○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
						・役員、会員の高齢化。 ・組織のあり方について、会の中で検討し意思統一していく必要がある。			

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき)	② 地域芸術文化の振興(つづき)	88	教育委員会表彰事業 ※芸術文化の部	生涯学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。	令和7年3月27日に表彰式を開催した。 スポーツ団体には教育長から授与、その他は学校から表彰状及び記念品を配布した。 受賞者：芸術文化の部 個人41名 団体5 計47名 スポーツの部 個人48名 団体26 計116名	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		89	写真芸術・文化振興事業	美術館	写真芸術・文化の振興に資することを目的に、フォトコンテスト、ワークショップ、作品説明、フォトスクールを開催する。	<p>・写真美術財団の事業として、フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップを実施した。</p> <p>・フォトコンテスト 応募点数：一般の部452点(208人) 18歳以下の部：276点(229人) 審査員：織作峰子氏(写真家、大阪芸術大学写真学科学科長)、平間至(写真家) 入賞・入選作品展示：11月6日(水)～12月9日(月) 表彰式：12月1日(日)</p> <p>・フォトスクール プログラム：作品鑑賞、デジタルカメラの基礎講座、撮影会、撮影会作品の講評 参加者数：13団体(町内小中学生他) 208人</p> <p>・ワークショップ テーマ：写真を使わずに、写真が作れる？ 開催日：8月3日、4日(各日午前午後の2教室) 対象：小中学生 参加者：41名</p> <p>・メーカー側の経営悪化により、フォトコンテストへ景品供給が減っている。また、フォトスクール用のカメラの貸与も、1社のみとなったため柔軟に対応できにくくなっている。新たな借入先を見つめるか、購入するか等の検討が必要。</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
4-(1) 生活の中にスポーツがある暮らしの支援	① 幼児・小中学生のスポーツ活動の推進	90	こども体力・運動能力等向上事業	総合スポーツ公園	幼児を対象として、体力・運動能力向上を目的に町内各保育所へ指導員を派遣し、運動・運動遊び指導を行う。(スマイリースポーツクラブ委託事業)	<p>町内5保育所で年中年長児を対象に運動教室を年間80回開催した。</p> <p>運動遊びなどを通じ、子どもの体力・運動機能向上に有効な事業であり、今後も継続実施する</p>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
4-(1) 生活の中にスポーツがある暮らしの支援(つづき)	① 幼児・小学生のスポーツ活動の推進(つづき)	91	伯耆町体育団体等補助事業 ・ジュニアクラブ活動支援	総合スポーツ公園	スマイリースポーツクラブに所属するジュニアクラブに対し補助を行い、児童生徒の健全育成、競技力向上、指導者等の育成及び地域スポーツの振興を図る。	ジュニアを対象にした各種活動を実施し、体力・運動能力・競技力向上や健康増進に寄与した。 ・支援対象ジュニア団体 9種目11団体  ・伯耆町TVや団員募集冊子の配布など、会員増加に取り組むとともに、認知度を向上させるための広報活動を行って行く。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		92	スポーツクラブとの連携による健康づくり	総合スポーツ公園	教育委員会が主管する健康づくり事業やスポーツ振興事業を総合型地域スポーツクラブ「マイリースポーツクラブ」と連携し実施する。	・町内保育所児童を対象に「子ども体力運動能力向上事業」として体操教室を開催している。【事業番号90に実績を記載】 ・大人を対象とした元気アップ教室やウォーキング大会など、子どもを対象とした水泳教室、親子体操教室など、補助事業として教育委員会と総合型地域スポーツクラブが連携し開催している。  健康づくり関連の運動教室をスマイリースポーツクラブと共催する形で実施していく【事業番号95に実績を記載】	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	93	スポーツ推進審議会事業	総合スポーツ公園	教育委員会のスポーツに関する諮問及び町のスポーツ推進に関する事項について研究協議を行う。	下記の項目を主な議題として審議会を1回開催した。 ・スポーツ推進計画(第3次)の進捗状況とまとめ ・中学校運動部の地域移行について  ・令和6年度からの伯耆町スポーツ推進計画(第3次計画)を策定した。計画に沿ってスポーツ振興に取り組む。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		94	スポーツ推進委員事業	総合スポーツ公園	委員を委嘱し、町内のスポーツ振興・普及を図る ・町内体育行事の運営協力 ・生涯スポーツの指導、普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営	・各種研修会やスポーツ大会運営補助などの活動に取り組んでいる。 ・部活動地域移行協議会、スポーツ推進審議会、町民運動会実行委員会、スマイリースポーツクラブ理事・監事など、各種委員に就任している。 ・スポ少指導員、部活動指導員、アスリートクラブ代表など、町スポーツ団体の運営に寄与している。  ・委員の定員は8名で任期は2年間である。(任期:令和7年3月31日)	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
4-(1) 生活の中にスポーツがある暮らしの支援(つづき)	②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進(つづき)	95	スマイリースポーツクラブ支援(スマイリー独自活動支援関係)	総合スポーツ公園	スポーツを通じて地域住民の健康増進や体力向上を目的に活動する総合型地域スポーツクラブ、「ほうきスマイリースポーツクラブ」が主催するスポーツ活動に係る経費の一部について補助金を交付し支援する。	健康づくり等を目的とした教室・大会を開催し町民の健康増進に寄与した。 ・スマイルフィットネス教室 2期各10回 延べ240人 ・ほうきキッズアスレ 15回延べ255人 ・スマイリーウォーキング 16人 ・キッズクロスカントリー大会 24人 ・親子体操教室 3回延べ105人 ・親子モルック教室 12名 ・体力テスト判定会 14名 ・夏休み短期水泳教室 4日間延べ100名 ・夏休み幼児泳教室 4日間延べ92名 ・スノーウォーキング 25名 ・スマイリースポーツクラブはスポーツ庁・日本スポーツ協会が市町村に設置を推奨する「総合型地域スポーツクラブ」であり、行政主導ではなくクラブ員や地域住民の意見を取り入れたスポーツ活動を今後も実施していく方針。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
4-(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	①いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	96	町内体育施設管理運営事業	総合スポーツ公園	町内の社会体育施設である体育館・武道館・町民グラウンド・総合スポーツ公園等の管理運営を行う。	各施設利用者数(前年比較) ※中学校部活利用は除く ・社会体育施設(町民体育館ほか) 43,695(37,627)人 ・総合スポーツ公園 32,078(31,455)人  (主な施設・備品修繕) ・海洋センター倉庫改修工事(ログハウス) ・総合スポーツ公園音響設備改修工事(園内スピーカー及びアンプ設備) ・溝口武道館網戸張替修繕工事 ・海洋センター事務室エアコン改修工事 ・岸本体育館防球ネット修繕 (主な施設管理委託業務) ・総合スポーツ公園芝生更新業務 ・総合スポーツ公園及び溝口体育館植栽剪定業務 ・各施設消防用設備点検業務 ・伯耆町特定建築物(社会体育施設)定期調査委託業務  ・今後も安全で快適なスポーツ環境を提供できるように施設の管理運営を行う。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		97	体育施設改修事業	総合スポーツ公園	体育施設を快適な環境で利用できるよう施設改修等を行う。	本年度実施なし  計画的に施設の改修等を行う。		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
4-(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備(つづき)	① いつでも気軽にスポーツができる環境の整備(つづき)	98	伯耆町体育団体等支援事業 ・一般スポーツ団体等支援	総合スポーツ公園	スマイリースポーツクラブ(アスリートクラブ)に対し補助を行い、競技力向上、指導者等の育成及び地域スポーツの振興を図る。	スマイリーアスリートクラブの活動を支援し、競技力の向上、競技普及及び各種競技大会へ参加を支援した。 ・支援対象アスリートクラブ団体 6種目6団体  ・会員増加に向けての企画立案。 ・町民への認知度を向上させるための広報活動。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		99	各種スポーツ団体補助事業	総合スポーツ公園	伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆町グラウンドゴルフ協会活動経費の一部を補助する。	・生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供に寄与した。 ※町大会運営や郡、県大会等さまざまな大会に参加されている。  ・今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供できるよう、継続的サポートを行う。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		100	教育委員会表彰事業 ※スポーツの部(No88事業の再掲)	生涯学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。	令和7年3月27日に表彰式を開催した。 スポーツ団体には教育長から授与、その他は学校から表彰状及び記念品を配布した。 受賞者:芸術文化の部 個人41名 団体5 計47名 スポーツの部 個人48名 団体26 計116名  表彰規定の見直しを行い、令和6年度から適用した。	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業						評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等			
						主な課題・改善方針・今後の展開等			
4-(3) スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進	① スポーツ交 流の充実・ 支援	101	地区運動会・その 他イベント開催事 業	岸本 公民館	町民総スポーツの中心的事業として 運動会を開催し、子どもから高齢者ま での参加により地域の連帯感、親睦を 深めた。 実施にあたっては、地域住民からなる 実行委員会を組織し、企画、準備、運 営を行っている。	・町民運動会岸本地区大会を10月6日に開催した。36集落のうち、13集落の参 加。(令和元年度24集落の参加に対し11集落の減)		○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
				・アンケート結果から、集落内の少子・高齢化等により参加しにくい傾向にある。 (選手集め等、役員の負担感が大きい) ・午前中で終了するプログラム、種目の年齢制限緩和など参加しやすい工夫が 必要。					
				溝口 公民館		・平成29年度、平成30年度、令和元年度と3年連続で雨天中止なり、令和2年度、 令和3年度、令和4年度は、新型コロナにより中止となった。令和5年度についても 雨天中止となった。町民運動会溝口地区大会を第3日曜日となる10月20日に開 催する予定で実行委員会を開催し協議したが、参加が12組中4組(49集落中6集 落)となり、開催困難ということで中止に決定。		●	未実施事業 20%以下、
二部 公民館	・町民運動会溝口地区大会の今後の開催について、各集落へアンケート調査を 行いご意見をいただき、大半の集落が少子高齢化等による人口減少で選手が集 まらない等のため、開催を希望しない・参加ができないとの回答があり、従来通り の運動会の開催は困難と認識。 今後については、アンケートでいただいた意見も踏まえ、従来開催していた運動 会の内容に代わる地域の皆様が交流できるようなものを検討したい。								
						・町民運動会二部地区大会 令和5年6月26日二部公民館で区長により協議をした結果、少子高齢化による 人口減少により運動会の開催は困難と判断した。 また、運動会に代わる高齢者から子どもまで集える催しとして、二部地区活性 化推進機構主催のeスポーツ体験交流会を2月1日(土)に開催した。		○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
						令和7年度は、高齢者から子供まで集える催しを、二部地区活性化推進機構主 催で開催する予定			



計画分類		主な事務事業					評価		
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等			
						主な課題・改善方針・今後の展開等			
4-(3) スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進 (つづき)	① スポーツ交 流の充実・ 支援(つづ き)	101 (つづ き)	地区運動会・そ 他イベント開催事 業(つづき)	日光 公民館		・町民運動会日光地区大会については、年齢制限の撤廃や男女別の緩和など参加しやすいよう工夫をしていたが、選手集めが大変、若い者の参加が少ない、2～3種目に重複して参加しているなどの課題があった。 そのため、令和5年度に区長等で協議し、運動会を続けることができないとの結論となり廃止とした。 ・伯耆町駅伝大会についても公道での危険性や日光女性会の解散、農村広場の管理などの課題があり廃止とした。		○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
						運動会の代替事業として、健康と食のまつりを11月24日(日)に開催した。 内容は、eスポーツ・健康チェック・減塩スープの提供とし、外部団体の協力を得て実施した。 また、駅伝大会に代わる催しとして、総合スポーツ公園でリレーマラソン大会を開催した。			
4-(3) スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進 (つづき)	① スポーツ交 流の充実・ 支援(つづ き)	102	生涯スポーツ振 興事業	総合ス ポーツ公 園	一般町民を対象としたスポーツ大会を町内スポーツ団体等と連携し開催することで、各種スポーツの振興、町民の健康づくり及び町民の交流・親睦に寄与する。運営は、スマイリースポーツクラブに委託。	一般町民を対象とした町主催スポーツ大会を7事業計画した。全大会予定通り開催した。 ・4月 バドミントン大会 実施    ・5月 ソフトテニス大会 実施 ・9月 野球大会 実施                ・10月 リレーマラソン大会 実施 ・11月 バレーボール大会 実施    ・1月 バドミントン選手権大会 実施 ・3月 卓球大会 実施		○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
		・新規事業としてリレーマラソン大会を10月に実施した。							
			103	生涯スポーツ振 興事業(ジュニア スポーツ大会関 係)	総合ス ポーツ公 園	町内小学生を対象にしたスポーツ等のイベントを開催し、スポーツに親しむ基盤づくり、体力・運動能力の向上及び小学生同士の親睦・交流を図る。	小学生を対象とした町主催事業(B&G財団関連事業)を実施した。 ・5月 海ごみOフェスティバル(ゴミ拾いボランティア活動)50名 ・7月 B&G水辺の安全教室 9名 ・2月 B&G会長賞ジュニアバドミントン大会 30名		○
・スマイリーが主催する小学生対象事業とともに、今後も連携して実施していく。									
4-(3) スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進 (つづき)	③ 競技スポー ツの支援(つ づき)	104	スポーツ優秀選 手支援事業	総合 スポーツ 公園	町内の特にレベルの高いスポーツ優秀選手に対する支援や顕彰を行うことで、意欲向上等による一層の活躍とスポーツに対する町民の関心を高める。	・全国大会等に出場する団体、個人に対し経費の一部を補助 15(9)件 ・全国大会に出場する団体、個人の看板を作成し、役場前に掲示 41(22)件		○	継続事業目 標達成90%以 上又は新規 事業ほぼ達 成70%以上
						・今後も競技スポーツの振興を図るため支援を継続実施する。			

## 自己点検・評価に関する回答票

### ○報告書個別事業に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、PTA会長、スポーツ推進審議会委員及び地域学校協働本部実行委員に送付し、無記名で意見書を返送いただいたものを掲載しています。

教育行政全般に関するご意見・ご感想	溝中校区、岸中校区、それぞれに課題をあげれば違いますが、町全体がもっと考えていけないといけないと思います。(これから成長する子どもたちのことをもっと)
	いわゆる給特法の一部改正により、教職員の業務改善が一層求められています。本来教員がすべきではない業務の内、予算対応等で可能なものはできる限り実施し、改善につなげる具体策を講じていただきたいと思います。例えば、エアコンのフィルター掃除の業者対応やマットのリース化など。
	教育委員会について、いつも親身になって相談に乗っていただいております。ただ、はた目から見ますと教育委員会の人員数に合わせての仕事内容が多いように感じており、コロナ禍前の内容にすべて戻されなくても、精査され、内容を厳選されてはと思っています。研究大会や町教振など、1つ1つの取組は大変良いものばかりですが、思い切って見直しをされる時期が来ているのではないのでしょうか。隔年で開催する、平日に開催する、会をやめるなど、精選に取り組みまれても良いと思います。近隣町村、また他県の取り組みなど参考にされ、職員の皆様も、スクラップアンドビルドのスクラップの部分を遠慮なく進めていただき、働き方改革を進めていただいて、お互いに持続可能且つ効率的に子どもたちの力を伸ばしていければと願っています。
	溝口中学校区学運協から意見が出た。今後の学校運営の在り方について、そろそろ5年後、10年後の近い未来を見据えて議論する必要がある。町長も変わられ、どのような考え方をもっておられるかもお聞きたい。できれば、前回の協議の結果、小学校3校が合併すべきだったと個人的には思っている。しかし、時を経て現状は中学校運営すら危ぶまれている。これば溝口地区だけの問題ではなく、伯耆町全体の教育行政の問題だと思われる。ぜひ、慎重に、しかし、希望の持てる結果が生み出せるよう、取り組んでいただきたい。
	現在、町内4小学校を見た時に児童数の二極化がみられます。児童数を考慮して予算の再考が必要になってきているのではないかと考えられます。 岸本小学校1校の児童数、特別支援学級の数が増えてきている。それに伴い教室数が不足してきている環境の平準化を図っていくことを考えていくべきかと感じます。 また、小規模校でも、魅力ある教育課程を実践されており、小規模転入制度特認校も考えてもよいのではと感じます。

	今日の学校現場、特に小学校における教員の働き方改革とありますが、年に一度の郡陸上大会などには、もう少し児童に目を向け指導をしてほしいと思います。毎日指導をすることは困難であっても、充分勤務時間内に児童に教えてやれることは少なからずあると思います。リレーのバトン練習・幅跳びの踏切り・スタートの仕方・・・子どもたちは不安があります。無理でしょうか？
	伯耆町は、文化歴史をはじめ、スポーツ、美術、音楽など芸術を行うにしても素晴らしく充実した施設が整っていると改めて気づく。高齢者が余生を過し、若者が暮らしたくなる様に、ヒトやカネをしっかりと充てて、生産性を上げていけると持続可能な教育行政につながらないでしょうか。
	町PTA協議会から提出している教育に関する要望書について、「検討します。検討していきます。」という回答が多々ありますが、期日がなく、そのスピード感も分からないため不満です。
	数値目標、実施率等、数値で表して状況を判断していくことが必要。効果等が不明で事業継続可否も判断できない。 多くの会議と事業があるが、会議の経過やイベント等の計画が伝わってこない。広報の工夫が必要。
	実績数は(前年)を書くことが良いと思います。
	この自己点検・評価もグーグルフォームでの回答を希望します。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
1	学力向上推進計画策定と進捗管理	事業として継続していただきたい。
2	標準学力調査及び分析の実施	伯耆町の児童生徒の学力がどの程度なのかわからない。  CBT化にもなり、検査から結果までの時間が短縮された。今後も年2回の実施を継続してほしい。
3	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・学力補充関係事業	伯耆未来塾について、周知は徹底できているか。参加率はどうか検証してほしい。  英検受験料の補助はとても良い取組と思うが、どの程度申請があったのか分からない。小学生の受験は、溝口中学校を準会場として実施する際に、同会場で受験できるようにしているが、英語担当者の尽力により成り立っている。担当者が変わっても同様に実施できるのか、今後事業を継続していくための具体案を検討すべきと考える。

		<p>未来塾の利用者はどの程度いるのか。小学生の英検受検者は増えているのか？学校の対応はどうか。</p> <p>伯耆未来塾では中1～中3まで一緒に学習することで、お互いにより刺激になっている。英検補助拡充により、子どもたちのチャレンジを後押しできている。</p>
4	体力向上計画策定と進捗管理	<p>平均値ではなく個別に目標設定したらどうか。</p> <p>小体連等の大会がなくなったことと、若い教員が増えて指導力の低下もあり、泳力の低下が見られる。また、泳力だけでなく体力の低下も継続して見られる。今後、指導力の向上を図る町全体の取り組みが必要である。</p>
5	小学校外国語教育推進事業	<p>ALTの授業以外での学校との関わり、コミュニケーションの向上について検討していただきたい。</p> <p>専科の先生にご指導いただいたりALTの先生に授業を充実したものにさせていただくことにより、職員の負担減を図ることができています。今後ともお願いしたいです。たくさんの学校を回られますので、忙しいとは思いますが、年度当初に担当が集まり、専科・ALTと一緒に指導と評価について確認をしておけるとよいかと思います。</p> <p>全町で1名のALTをつけていただき、大変ありがたい。今後とも継続をお願いしたい。</p>
6	外国青年招致事業	<p>ALTの授業以外での学校との関わり、コミュニケーションの向上について検討していただきたい。</p> <p>ALT配置に感謝します。JETによるALTの研修は絶対量が少ないので岸本中・溝口中のALT同士で研修し合う機会があってもよい。</p>
7	栄養教諭による食指導	<p>現場(畑、畜産、市場等)を見学させていただけると学びの質に繋がるのでは。</p> <p>伯耆町の給食が他自治体にはない試みをされていることも学習し、郷土のもつ素晴らしさ(食に対する)を再認識できるとよい。</p>

		こまめに各校を巡回していた抱き、給食指導をいただいております。ありがとうございます。今後ともお願いしたいと思ひます。授業の方にも、栄養教諭の先生のご都合がございましたら、参画をお願いしていきたいです。
9	運動部活動推進事業	<p>部活動の地域移行→地域展開が協議会でどのように検討されているのか。地域の者には見えてこない。</p> <p>町が行ったパルによる運動指導はとても良いと思ひます。運動部のみならず、成長期にある児童生徒たちに正しい身体の使い方を身につけて自分の心と身体を大切にしてほしいです。</p> <p>部活動指導員を確保していただき感謝します。人材不足が言われる中ですが、今後の部活動地域移行にむけて推進をお願いしたい。</p>
10	特別非常勤講師配置事業	<p>なるべく各学校でのバラつきがないようにお願いしたい。非常勤講師が4校並行しての活動は難しいのか。</p> <p>溝口小だけ特別非常勤講師を活用していないのは何故なのか。「授業や活動の充実が見られる」という効果があるのに！</p>
11	伯耆町教育振興会事業 ・人権教育	<p>人権教育の目的。なぜ実施するのかのベースを授業でしっかりお願いします。</p> <p>人権教育部主催の研修会を実施していただくことにより、すっきりした取り組みとなったと思ひます。</p> <p>毎年実施していた人権教育研究大会は、部会での研修に変更した。部会での研修を充実させて、町内の取り組み等の共通理解を図る必要がある。</p> <p>「共通理解を図り、<u>共通実践を進めていく</u>。」とありますが、共通実践は難しいと思ひます。Ex) 実態に応じた実践の工夫に生かす</p> <p>町人権教育主任会での話し合いが肝になります。また、実際、岸中での人権教育、人権学習は50代周辺の人権学習の思いや意図が担任に伝わりにくい状況。</p>

12	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・各校研修会	成果を求められていますが、職員も工夫している最中。
13	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・教委研修会	町教振全般、今後も同じ体制で行くのは大変ではないでしょうか。小中各小教研、県教委が研修の機会を担保しておられます。また、PLANTのシステムも始まり、全国規模で研修ができます。オンライン研修も可能です。反対に各校の学校規模はどんどん小さくなり(岸小は違いますが)職員数も減る方向です。町や中学校区で連携してなくてはならないものだけ残し、あとは思い切って見直しを図る時期ではないかと思います。
16	伯耆町教育振興会事業 ・生徒指導	ビルド&ビルドにならずに、他の研修と置き換える意味で、生徒指導、アセスメント、ケース会議の運営等についての研修会があるとよいと思う。
18	学校計画訪問、行事訪問、講師訪問、本務者訪問	教職員の人事関係や学習(授業)面を見聞するだけの学校訪問になっているのでは。施設整備の状況、備品等の活用状況なども大事な問題である。
		負担にならない形でおいでいただいています。ありがとうございます。
19	伯耆町教育振興会事業 ・保小中一貫教育	保小中一貫教育とありますが、幼児・児童・生徒の基本的な個に対する申し送りは成され、互いに理解はされていると思いますが、子どもの体力低下と言いながら、この点についての下の年齢層との連携・申し送りは不十分だと思います。連携を密にして、終始一貫した指導体制を望みます。
20	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・小中一貫関係事業	ほうき「ひと・まち・未来づくり」3rdステージ(R6~8)。抽象的な表現が多いので、具体的に示せる様、伯耆町らしさ、目指す児童生徒像を更に熟考したい。
22	中学校教員の小学校への乗入授業	授業時間数の調整になっていないか。
		ぜひ実施をお願いしたいです。特に6年生に向けての実施をお願いします。
		R8年度、岸中音楽科の八郷小、岸本小への乗り入れ授業を検討中。

24	伯耆町教育振興会事業 ・就学支援	保小の連携も含めて、大変丁寧に対応していただき、児童のスムーズな就学ができた。
25	中学校区の児童生徒を語る会	いじめがあって行事が中止になったり、部活の新入部員が減ったりと問題が多々あるようだが、情報共有をしっかりとしてほしい。
		岸中校区の回数が学期1回から年1回に減ったのは、なぜでしょう？1回でも評価に値する成果が見られているのなら、文言として書かれてはどうでしょう。
		大変、大切な会であると思うが、会合がかなりある昨今の現状をみて、会の在り方を考えていただくとありがたい。
26	少人数学級実施事業	岸本中学校区の生徒増、溝口中学校区の減、今後の学級人数の推移を関係者で共有し、学校教育環境のあり方をしっかり議論しないといけない。
		少人数小学校の、岸本、溝口小との統合を強く希望します。
		児童生徒数への対応は、10年後、20年後を見すえて進めていきたい。
		教員不足がいわれる中、少人数学級を実施していただき感謝いたします。引き続きよろしくお願いします。
27	スクールソーシャルワーカー活用事業	2名体制になり、心強く思います。大変助けられております。今後ともよろしくお願いします。
29	特別支援教育支援員配置事業 ・早期支援コーディネーター	適切なアドバイスを適時いただき、大変ありがたい。
30	特別支援教育支援員配置事業 ・学習支援員等	年々、特別な配慮を要する児童生徒が増えている中、学習支援員の配置は学校現場にとってはとてもありがたい。児童生徒の状況が年度により変わってくるので、学校の実情に応じた配置を引きつづきお願いしたい。

		<p>加配が非常勤講師対応という現状で、学習支援員を配置していただき、大変ありがたい。</p> <p>実態に応じた人数を配置いただき、大変ありがたいです。学習支援員の先生がいっしょやることで、児童が安心して学校生活を送れています。今後とも、実態に応じた配置をよろしくお願いいたします。</p> <p>学習支援員を2名配置していただきました。効果大と職員も申しています。</p>
31	学校図書整備及び図書館司書配置	<p>学校司書の方の存在のおかげで、子どもたちが本に親しむきっかけになっている。システムの導入でよりよい図書サービスにつながると思う。</p> <p>若い教員が増えている中で、各学年の学習進度にともない、有益な情報を流していただきありがたい。</p>
32	校務支援システムの活用	<p>実際の数値は？</p> <p>校内の事務がかなりはかどるようになってきている。今後とはさらに使い方を習熟させたい。それに加えて、町職員の掲示板と予定表などの限定的使用が望まれる。</p>
33	教育支援センター運営事業	<p>教育支援センターには、生徒の進路を見据えた関わりをしていただき、とてもありがたく感じている。</p> <p>「えがお」に通う児童生徒にも町の給食が食べられるシステムになるといいです。</p>
34	就学援助事業 ・要保護、準要保護	すばらしい事業です。
36	学校施設整備事業	優先順位は共通認識としてあるのか。



		<p>・耐震工事の際の改修工事から、年数がたち人数も多いことから教室のドア、床材の劣化、トイレの故障等が増えてきている。大規模な修繕が必要な時期に来ている。</p>
		<p>特別教室の間仕切り設置で十分な支援教育が実施できているのか。</p>
37	小学校施設修繕事業	<p>優先順位は共通認識としてあるのか。</p>
		<p>老朽化が著しいです。校舎のみならず校舎周りの環境整備にも苦慮しており、地域の皆様、保護者の皆様に助けられております。ただ、好意に甘えるだけではよくないと思いますので、今後も必要な予算についてはお願いをしていきたいと思いますので、ぜひご配慮ください。校舎周辺、遊具周辺の環境整備ができていないがゆえに、痛みも早い側面があります。予算は限られていると思いますが、一度しっかりと予算をつけていただき、手入れをしてはと思います。一部ずつ行うことにより、周りの手つかずのところから根や種が侵食し、効果が半減します。一斉にすることのメリットは大きいと思いますので、ご検討いただければありがたいです。</p>
38	中学校施設修繕事業	<p>優先順位は共通認識としてあるのか。</p>
		<p>溝中の体育館。修繕が必要なところがたくさんあるが、これからこの校舎を使うのかどうなのか？というところを早急に対応して欲しい。</p>
		<p>溝口中学校は校舎がかなり老朽化しており、雨漏り等、修繕が必要な箇所が増えてきている。優先順位を決めながら、対応をお願いしたい。</p>
		<p>プライベートの観点からトイレの扉を一考。</p>
40	学校安全体制整備推進事業	<p>スクールガードリーダーがどなたなのか全く知らない。</p>

41	バス事業担当課との連携	バスが減り、学校としても苦勞です。
		本年度からバスの台数が少なくなり大変な中、できる限りの対応をしていただき、ありがたく思います。ただ、これまでとシステムが変わったことで、これまでになかったようなトラブルもありました。事後、誠実に対応いただきましたが、なるべく未然防止が図っていただき、これまで通り安心安全な通学バス運行をお願いします。
		バスについては、担当者の方に大変お世話になった。 岸小・中が路線を使っているが、その大変さを町内の各小学校にも知っておいていただく必要がある。
42	ICT環境の整備	ICT教育により、子どもたちはより多角的に情報を得ることができ、教育の充実につながっている。
		操作ロック、画面ロックなどの管理アプリが必要。
		ICTを進めるメリット、デメリットを今一度考えて方向を決めなくてはと思う。
43	防災教育・避難訓練・防災関係計画の充実	中学校区単位で連携を取って訓練（溝口中校区）して下さったり、危機感をもって取り組んで下さり、ありがたい。
44	学校給食施設管理運営事業	給食費滞納について、援助のあるご家庭で滞納があるのか。援助のないご家庭での滞納なのか。解消について具体策はあるのか。
45	学校給食費補助事業	多少の値上げは大賛成。充実した給食を提供してほしい（量、質共に）。
		値上げに際し、補助をいただきありがたく思います。今後ともよろしくお願いします。
		年度途中の値上げは回避してほしい。

46	食材供給連絡協議会との連携	町内産食材を安定的に供給可能な体制ができているのか。現契約農家に何かあったときの対応は。
		生産者の高齢化、環境の変化に伴い、以前と同じような食材提供が難しくなっていると思う。手立てが早めに必要。
48	家庭教育支援事業	川柳募集の回数が多すぎるように感じる。参加率向上のための取組、アイデアをお願いしたい。同じメンバーしか参加していない気がします。
		PTA活動や学校との関わりは、親としての学びの場でもある。一人でも多くの保護者に参加いただけるよう推進してほしい。
49	家庭教育ハンドブック配布及び活用事業	とてもよい取り組みなので、配布後の各家庭での活用をさらに進めて欲しい。
		予算は大変であると思うが、担任等や新しく来たものに配布をしていただくとありがたい。
50	PTA協議会補助金	溝口中校区のPTA会員数は激減しているが、会費に対する補助がなければ活動は衰退する。
51	学校運営協議会運営事業	各学校の状況が大きく異なるところがある。それぞれが課題を明確にして取り組む必要があり、その点のアドバイスが必要。
		町広報誌、伯耆町TVでPRをすすめてほしい。
52	地域学校協働本部事業	学校周辺の地域の活動参加となっていないか。集落、自治体単位へ働きかけがあるのか。
		岸本地区の活性化を求む(特に小学校)。

		<p>学校が何を求めているかを出していくことが必要であり、教職員の質の高さが活動に大きく影響する。</p> <p>ゆめネットの定期的な募集チラシの配布などにより、取組が充実してきていると感じている。</p>
53	伯耆町教育ネットワーク会議事業	<p>会議の回数が少なく、意味がないと思います。</p> <p>年2回開催したネットワーク会議の状況を記載されるべきだと思います。</p>
54	子供の体験活動事業	<p>引き続きお願いしたいと思います。</p> <p>何かをしていこうという地域の方はおられるが、その活動がすべてボランティアではどうなのか。多少の補助金が必要ではないか。</p>
55	放課後子供教室	<p>引き続きお願いしたいと思います。</p> <p>ボランティアを活用した教室を取り入れていったらどうでしょう(特に溝小)。</p> <p>産業課がかかわる木工教室については、やはり、片方の学校のみで実施というのは見直しの時期ではないでしょうか。</p> <p>普段の活動だけでない取り組みもされていて、子どもたちが本物に触れる時間を持つことができた。</p>
56	伯耆町教育振興会事業 ・地域教育	<p>ふるさとめぐりはとてもよいですが、開催の時期は一考されてもよいかと思います。(体調不良者が出る前に)</p>

58	高校生サークル((旧)高校生ユースセミナー)	例年苦戦している事業。高校生サークルの組織が街のリーダーの育成に繋がっているか疑問が残る。
		高校生というワケでの募集では集められない。何をしたいのかを先にもってくる方がよいのでは。中高生が何を求めているのか！
		中学校時代の取組に続いて、更に高校生になってもより広く、より深く地域に目を向ける取組が始まっている。今後の展開に期待したい。
		現在岸中のボランティアクラブが立ち上がりCS委員が窓口となり推進している。課題としてクラブ員の保護者との意見調整が出てきている。今後、高校生サークル化につなげたい。
		今(高校生の時代)は、あまり地元に対する意識は高くないかもしれないが、行く行く芽生えてくると思って種まきしたい。
59	子供の体験活動事業	居住エリア外の公民館へ足を運ぶ(交流・人流)ことができればいいのでは？
		会場までの移動手段の確保が必要。参加したくてもできないという子どもは多数いる。
		公民館で地域の子どもの放課後を過ごせるようなイベントや同好会が増えてくるとよいと思う。
60	二十歳を祝う会((旧)成人式)	高校生サークルなど、地域の活動団体も受付でアピールするとよい。
		出席者の割合があるとよいと思います。新しい記念品の選定の背景は？(伯耆町のものであることのほかに、若者の意見等が反映されているのでしょうか？)
61	通学合宿事業	以前はもう少し規模が大きかった。スタッフ確保が難しいのは事実だが、何とかして拡大できたらと思う。

		スタッフの確保は横のつながりで広げてもらう。反省点を活かして末永く続く事業にしていこう。
62	読谷村教育交流	10歳から18歳程度の幅のある年齢での交流がいいのでは。交流活動が地域に広がらない。
64	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	地域住民にとっての人との出会いの場、生涯を通じて共に学びあっていく場になっている。
67	生涯学習まちづくり推進事業	イベントや勉強会など興味深いことをされているが、周知されていない気がする。周辺の自治体の情報も含め、西部エリアで盛り上がっていきけるようなのではないだろうか。
68	社会教育主事等の育成	社会教育士を増やして、理解者を増やし、事業や町づくりをさらに充実させられないか。
69	地区公民館との連携	八郷地区に中核となる公民館の建物がないのは、残念です。地域との連携を深めるにあたって、ここに行けば触れ合えるという場所がないのは、厳しい状況です。せめて、八郷地区だけの放送設備があれば、子どもたちから地域の皆さんに呼びかけができます。なんとか設置していただけないでしょうか。(小さい地区ごとの放送設備はあると聞いていますが、そこを全部回らないといけないとなると大変なことです。)
70	図書館管理事業	町立で一つの図書館の設立はできないでしょうか。
		春休みや5月の連休等に図書整理等で休館になるが、児童生徒の利用促進のためには開館したほうがよい。
		閉館時間をもう少し遅くできると利用できる町民が増えると思う。毎日だけでなくもよいので、遅くまで図書館を開館できないか。
77	町営住宅修繕事業	移住者用に新たな事業を検討していただきたい(江府町のような)。

79	文化財保護事業	矢田貝邸、とても素晴らしい建物で楽しいイベントも開催している。町民がもっと親しんで利用し、町内外に広まるとよい。
81	地区文化祭・まつり開催事業	世代を超えて、住民が集まる仕掛け、呼びかけが必要なのでは？
		大人主体ですすみすぎていて、家族連れは楽しめない。各地区の子どもたちと協力し合って開催できれば盛り上がるのでは？
		公民館を核とした地域みんなでつくる祭になってきている。自分たちの地域を自分たちの手でという意識につながってほしい。
84	鬼の館運営事業	施設の再利用を本気で取り組むべき。
90	こども体力・運動能力等向上事業	延べ人数の表記がいます。また、実績数は(前年)を書くことが良いと思います。
91	伯耆町体育団体等補助事業 ・ジュニアクラブ活動支援	立地について、冬に活動しにくい。集客しづらい(雪と寒さ)。スマイリーの活動であれば平地(岸体や溝体)での代替活動もOKにしてみてもは？ 老人向けのレッスンも、通いやすければ活性化するのは！？
94	スポーツ推進委員事業	活動に目立った様子が見られません。本来日本スポーツ協会が定めるには、市町民の健康増進・生涯スポーツの計画・立案とありますが…。まず、町民の皆さんが「誰が」スポーツ推進委員かご存じないのでは？
96	町内体育施設管理運営事業	利用許可申請のシステムをオンラインでできるようにしてほしいです。南部町や江府町もそうなっているところが多い。せめて空き状況だけでもわかるように。
		生徒数も減ってきておりますが、社会体育館の日中の使用は、中学生の授業優先の慣例が何十年と続いております。学校には本来体育の授業の体育館があり、社会体育館は日中でも町民に開放されるべき施設だと思います。それがすなわち、町民自らが健康増進を考え進んでスポーツに親しむ姿勢を育てると思います。町民が直接言える場がないとおもいますが…

		<p>たくさんの団体が岸小の施設を利用しておられる。それに伴い修繕等の費用は、かなり教育委員会に助けていただいている場合もあり、学校でない方がありがたい。</p>
97	体育施設改修事業	<p>暖房の充実を！</p> <p>夏に体育館使用を社会体育でフル稼働している場所もある。WBGTが危険な状況でも使用されている場合がある。快適な使用環境を考えた場合、室内の温度を遮熱する工事が必要ではないだろうか。</p> <p>スポットクーラーの設置ありがとうございます。ダクトの修理が発生した場合の修理費の予算化についてご検討ください。</p>
98	伯耆町体育団体等支援事業 ・一般スポーツ団体等支援	<p>アスリートクラブ団体とその他の任意団体との違いを保護者が認識していない。教委からも支援があることを周知し、指導者の指導力向上にも力を入れていることを周知していただきたい。</p>
101	地区運動会・その他イベント開催事業	<p>小学校の運動会で50m走(徒競走)をやらないのであれば、町のイベントでやってみては？順位付けも時には必要！</p> <p>従来の内容にこだわらない形で、町民が楽しめるものを考えていく。企画段階から、人がいないので不参加では、体力づくりも、人の交流もできない。</p> <p>溝口地区の運動会。どうなるのかなと思います。</p> <p>中学生の参加要請を検討されるイベントについては学校行事を念頭において協議いただくか、学校との連絡・調整を図っていただきたい。</p> <p>事業の形を地域の実情にあわせて変えていき、スポーツを通じて住民が交流できる機会を継続して持ってほしい。</p>
103	生涯スポーツ振興事業(ジュニアスポーツ大会関係)	<p>子どもを対象にした活動が増えることが望ましい。企画する側(大人)に元気がないように思う。</p>



●教育委員会の活動(点検及び自己評価)

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価	
				意見・感想、主な課題・改善方針等	評価	評価選択肢
教育委員会の活動	(1)教育委員会の会議の運営状況	1	教育委員会会議開催	<ul style="list-style-type: none"> <li>・規則等に基づき、定例会12回、臨時会1回を開催し、案件数113件(報告34件、議事22件、協議20件、その他37件)を審議した。</li> <li>・教育委員として、それぞれの立場から議案について意見を出し合い、協議することができた。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		1	教育委員会会議の運営上の工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年から始めた委員協議についても継続し、最新の教育事情等について意見交換を行い、見識及び共通理解を図った。資料の事前配布について実施できなかった。</li> <li>・資料は定例会前に届いたことがない。その他の会議等の予定もギリギリにしか案内が来ない。</li> <li>・諸般の事情があつてのことでしょう。議案等資料の当日配布が多くなりましたが、重要案件で事前に理解が必要である場合は、事前に配布いただけると喜ばます。</li> </ul>	●	未実施事業20%以下、
	(2)教育委員会活動の保護者や地域住民への情報提供・情報発信	2	広報活動の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育委員会の自己点検及び評価等を、毎年9月議会にて報告するとともに、町ホームページを掲載し、情報提供を行った。</li> <li>・今後も継続実施</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		2	議事録の開示・公開の状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・議事録の概要を町ホームページで公開しているが、開示等請求があれば開示を行う。令和6年度は請求無し。</li> <li>・今後も継続実施</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	(3)事務局の管理運営	3	教育委員会の事務局管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施状況で、必要なものは、その都度教育委員会に報告し、助言等をいただいた。(議会提出案件、標準学力調査結果など)</li> <li>・今後も継続実施</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

施策		番号	項目	概要	主な成果等	評価	
					意見・感想、主な課題・改善方針等	評価	評価選択肢
	(4)町長部局との連携	4	教育委員会と町長部局との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町長との懇談会を実施する。</li> <li>・総合教育会議を開催し、町長部局との連携等、協議・検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は、総合教育会議を1回開催し、各種学力調査結果及び教育DXの推進等に関して協議・検討を行った。</li> <li>・町長、各部局とも連携が深められるよう努めます。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
	(5)教育委員の自己研鑽	5	学校訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。学校運営の取組を聴取する。また学校行事等へ参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問を行い、小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。また、学校行事等へ参加した。(卒業式・入学式など)</li> <li>・児童生徒の学校生活の様子が把握でき、又、管理職との意見交換ができて有意義でした。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		6	所管施設の訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設・社会教育施設等を訪問し、要望等現場の声を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は、二部公民館・二部小学校を訪問し、二部公民館の今後の在り方について検討した。定例教育委員会において各施設の事業実施状況等(決算資料による)の確認を行った。</li> <li>・実際に施設を見せていただくことで実情を捉えたよりよい検討につながった。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		7	研修会等参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員を対象として各種研修会等に参加し、教育委員としての知見を広める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度は、鳥取県市町村教育委員研究協議会、西部地区教育委員会連絡協議会研修会のほか、町教育振興会に参加し、教育委員としてのスキル向上に努めた。</li> <li>・西伯郡の教育委員と意見交換することができた、同じエリアだからこそ話せることもあるし、取り組みに感心することも多かった。互いに研鑽できる場であった。</li> <li>・学校教育、社会教育、両分野の研修会に参加でき、理解、向上が図られました。</li> <li>・研修等に参加することで、町教育の方向性や県・県内の町村の取組を知り、共有することが出来た。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上